

医療機器の保険適用について（平成26年1月収載予定）

区分C1（新機能）

	販売名	企業名	保険償還価格	算定方式	補正加算等	外国平均価格との比
①	SeQuent Please ドラッグ イルーティング バルーンカテーテル	ニプロ株式会社	174,000 円	類似機能区分比較方式	改良加算（ハ） 10%	0.98
②	Viva CRT-D シリーズ	日本メドトロニック株式会社	4,410,000 円	類似機能区分比較方式	改良加算（ハ） 5%	1.02
	Viva Quad CRT-D シリーズ		4,610,000 円	類似機能区分比較方式	改良加算（ハ） 5%	0.98

区分C2（新機能・新技術）

	販売名	企業名	保険償還価格	算定方式	補正加算等	外国平均価格との比
①	PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム	ビー・ブラウンエスクラップ株式会社	83,100 円	類似機能区分比較方式	改良加算（ハ） 5%	1.10

医療機器に係る保険適用決定区分及び価格（案）

販売名 SeQuent Please ドラッグ イルーティング バルーンカテーテル
 保険適用希望企業 ニプロ株式会社

販売名	決定区分	主な使用目的
SeQuent Please ドラッグ イルー ティング バ ルーンカテー テル	C 1（新機能）	ステント内再狭窄病変に対する血行再建術時に再狭窄を抑制するために使用される冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテルである。本品のバルーンには薬剤（パクリタキセル）が塗布されており、拡張時にバルーンが血管内壁に接触することで薬剤が血管内壁に放出、吸収され、薬理効果として拡張部位の再狭窄を抑制する。

○ 保険償還価格

販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比	暫定価格
SeQuent Please ドラッグ イルー ティング バ ルーンカテー テル	166,000 円 (174,000 円)	130 心臓手術用カテー テル (1) 経皮的冠動脈形成 術用カテーテル ② インフ ュージョン型 150,000 円 改良加算 (ハ) 10%	0.98	150,000 円

※ 米国では未申請であり、日本における薬事審査期間（申請者側）も基準を満たしているため、迅速な保険導入による加算の対象となる。（加算額及び償還価格の計算根拠は以下の通り）

改良加算（ハ）10%による額が 166,000 円であり、加算前の価格との差額は 16,000 円。その半分の 8,000 円が迅速導入による加算額となり、166,000 円に上乗せされ、合計 174,000 円となる。

(参考) 迅速な保険導入による加算の考え方

- 次のいずれかの要件を満たす場合、迅速な保険導入に係る評価の対象とする。
 - 類似機能区分比較方式で新規収載品の基準材料価格を算出する特定保険医療材料で補正加算の要件を満たす場合
 - 原価計算方式で新規収載品の基準材料価格を算出する特定保険医療材料で保険医療材料専門組織において補正加算の要件を満たすものと同等の有用性があると判断された場合
- 評価の対象となる要件（次のいずれの要件も満たす必要がある。）

イ 日本での薬事法に基づく承認申請がアメリカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出を完了した日から180日以内又は日本での薬事法に基づく承認申請がアメリカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出を完了した日と比較して早い場合（アメリカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出前を含む。）

ロ 薬事法に基づく総審査期間のうち、申請者側の期間が新医療機器の優先品目又は改良医療機器の臨床ありの場合には150日以内、新医療機器の通常品目の場合には240日以内

3 評価

迅速な保険導入に係る評価は、新規機能区分の価格に追加して、2年間に限り、当該医療機器に対して、補正加算額の50/100又は原価計算方式により算出された額の5/100を算定できることとする。

関連技術料

K546 経皮的冠動脈形成術 22,000点

[参考]

○ 企業希望価格


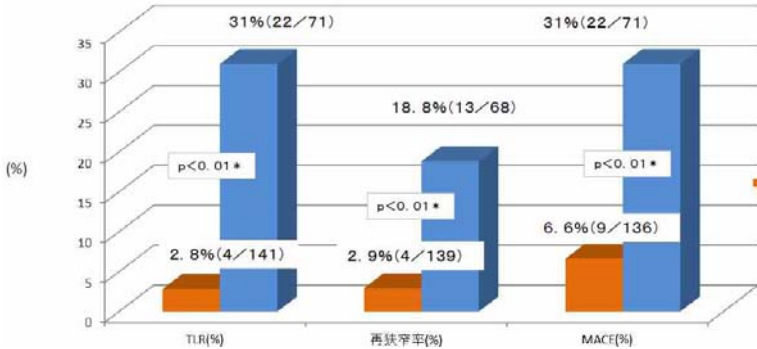
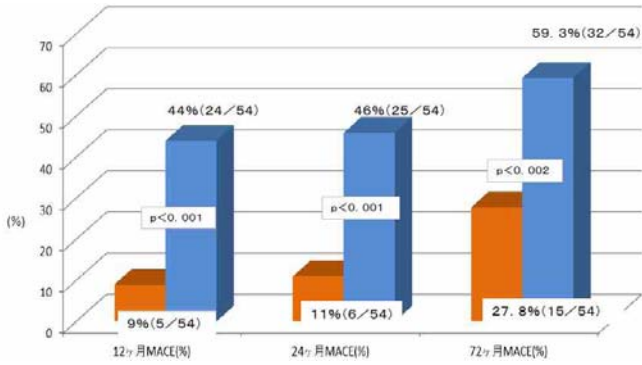
販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比	暫定価格
SeQuent Please ドラッグイルー ティングバルー ンカテーテル	168,000 円 (212,000 円)	130 心臓手術用カテー テル (1) 経皮的冠動脈形成 術用カテーテル ① 一般型 79,100 円 画期性加算 75%	1.00	79,100 円

○ 諸外国におけるリストプライス

販売名	アメリカ 合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラ リア	外国平均 価格
SeQuent Please ドラ ッグイルー ティングバル ーンカテー テル	—	150,289 円 (1,097 ポ ンド)	142,500 円 (1,250 ユ ーロ)	148,200 円 (1,300 ユ ーロ)	234,000 円 (2,600 豪 ドル)	168,747 円

1 ドル = 88 円 1 ポンド = 137 円
 1 ユーロ = 114 円 1 オーストラリアドル = 90 円
 (平成 24 年 9 月～平成 25 年 8 月の日銀による為替レートの平均)

製品概要

1 販売名	SeQuent Please ドラッグイーティング バルーンカテーテル
2 希望業者	ニプロ株式会社
3 使用目的	ステント内再狭窄病変に対する血行再建術時に使用される冠血管向けバルーン拡張式血管形成術用カテーテルである。本品のバルーンには薬剤(パクリタキセル)が塗布されており、造影剤と組みあわせることにより、拡張時にバルーンが血管内壁に接触することで薬剤が血管内壁に放出、吸収され、薬理効果として拡張部位の再狭窄を抑制する。
4 構造・原理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">本品写真</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">本品の主な有用性</p> <p style="text-align: center; margin: 0;">略号 TLR: 標的的病変血行再建 MACE: 主要有害心イベント</p> <p>○ 従来の治療であるバルーン療法と比較して、本品を用いた治療ではTLR率、再狭窄率、MACE発生率が有意に低い。</p>  <p style="text-align: right; margin: 0;">出典: 臨床試験時のデータ</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">ステント内再狭窄病変に対するPCI 24±2週後の評価</p> <p>○ 長期の観察においても、TLR率及びMACEの発生率は、従来法と比較して低い。</p>  <p style="text-align: center; margin: 0;">12-72ヶ月後のMACE発生率</p> <p style="text-align: right; margin: 0;">出典: B.Sheller, et al. Two year follow-up after treatment of coronary in-stent restenosis with a paclitaxel-coated balloon catheter. Clin Res Cardiol. 2008;97:773-781等</p> </div>

医療機器に係る保険適用決定区分及び価格（案）

販売名 Viva CRT-D シリーズ、Viva Quad CRT-D シリーズ

保険適用希望企業 日本メドトロニック株式会社

販売名	決定区分	主な使用目的
Viva CRT-D シリーズ	C 1 (新機能)	<p>本品は、自己伝導を自動的かつ定期的に測定することで、患者の心臓の状態に合わせた最適な心臓再同期療法を可能とするAdaptivCRT機能を有する両室ペーシング機能付き植込型除細動器（CRT-D）である。</p> <p>Viva CRT-D シリーズは単極又は双極用、Viva Quad CRT-D シリーズは四極用である。</p>
Viva Quad CRT-D シリーズ	C 1 (新機能)	

○ 保険償還価格

販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比	暫定価格
Viva CRT-D シリーズ	4,300,000 円 (4,410,000 円)	144 両室ペーシング機能付 き植込型除細動器 (1) 単極 又は双極用 ① 標準型 4,090,000 円 改良加算 (ハ) 5%	1.02	4,090,000 円
Viva Quad CRT-D シリーズ	4,500,000 円 (4,610,000 円)	144 両室ペーシング機能付 き植込型除細動器 (2) 四極 用 4,290,000 円 改良加算 (ハ) 5%	0.98	4,290,000 円

※ Viva CRT-D シリーズは、日本での薬事申請が米国での申請後 180 日以内であり、日本における薬事審査期間（申請者側）も基準を満たしているため、迅速な保険導入による加算の対象となる。（加算額及び償還価格の計算根拠は以下の通り）

改良加算（ハ）5%による額が 4,300,000 円であり、加算前の価格との差額は 210,000 円。その半分の 105,000 円が迅速導入による加算額となり、4,300,000 円に上乘せされる。合計 4,405,000 円となるが、有効数字 4 桁目を四捨五入して 4,410,000 円が償還価格となる。

※ Viva Quad CRT-D シリーズは、米国では未申請であり、日本における薬事審査

期間（申請者側）も基準を満たしているため、迅速な保険導入による加算の対象となる。（加算額及び償還価格の計算根拠は以下の通り）

改良加算（ハ）5%による額が 4,500,000 円であり、加算前の価格との差額は 210,000 円。その半分の 105,000 円が迅速導入による加算額となり、4,500,000 円に上乘せされる。合計 4,605,000 円となるが、有効数字4桁目を四捨五入して 4,610,000 円が償還価格となる。

関連技術料

K599-3 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 32,000 点

K599-2 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 6,000 点

[参考]

○ 企業希望価格

販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比	暫定価格
Viva CRT-D シリーズ	4,510,000 円 (4,720,000 円)	144 両室ペーシング機能 付き植込型除細動器 (1) 単 極又は双極用 ① 標準型 4,090,000 円 有用性加算 (ロ、ハ) 10%	1.07	4,090,000 円
Viva Quad CRT-D シリーズ	4,720,000 円 (4,940,000 円)	144 両室ペーシング機能 付き植込型除細動器 ②四 極用 4,290,000 円 有用性加算 (ロ、ハ) 10%	1.03	4,290,000 円

○ 諸外国におけるリストプライス

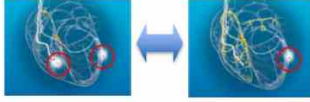

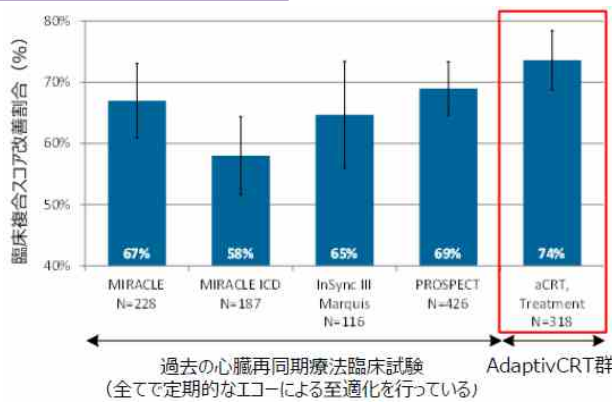
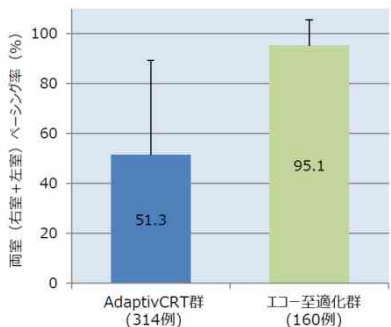
販売名	アメリカ合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラリア	外国平均価格
Viva CRT-D シリーズ	3,483,000 円 (40,500 ドル)	6,966,000 円 (51,600 ポンド)	3,384,945 円 (30,495 ユーロ)	2,634,863 円 (23,738 ユーロ)	4,661,375 円 (52,375 オーストラリアドル)	4,226,037 円

1 米ドル = 86 円 1 ポンド=135 円
 1 ユーロ=111 円 1 オーストラリアドル=89 円
 (平成 24 年 8 月～平成 25 年 7 月の日銀による為替レートの前平均)

販売名	アメリカ合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラリア	外国平均価格
Viva Quad CRT-D シリーズ	-	7,233,600 円 (52,800 ポンド)	3,598,410 円 (31,565 ユーロ)	2,706,075 円 (23,737.5 ユーロ)	4,747,500 円 (52,750 オーストラリアドル)	4,571,396 円

1 米ドル = 88 円 1 ポンド=137 円
 1 ユーロ=114 円 1 オーストラリアドル=90 円
 (平成 24 年 9 月～平成 25 年 8 月の日銀による為替レートの前平均)

製品概要

1 販売名	Viva CRT-Dシリーズ Viva Quad CRT-Dシリーズ																								
2 希望業者	日本メドトロニック株式会社																								
3 使用目的	<p>本品は、自己伝導を自動的かつ定期的に測定することで、患者の心臓の状態に合わせた最適な心臓再同期療法を可能とするAdaptivCRT機能を有する両室ペースング機能付き植込型除細動器(CRT-D)である。</p> <p>なお、Viva CRT-Dシリーズは単極又は双極用、Viva Quad CRT-Dシリーズは四極用である。</p>																								
4 構造・原理	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h3 style="margin: 0;">AdaptivCRT機能とは</h3> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>右室同期左室単独ペースング機能</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特長</div> <p>両室ペースングと右室同期左室単独ペースングを自動的に切り替える(1分毎)</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>ペースング間隔自動調整機能</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">特長</div> <p>心臓の状態変化に対応した定期的(1分毎)な自動至適化を提供</p>  </div> </div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <h3 style="margin: 0;">本品の有用性</h3> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>臨床複合スコア改善割合 (%)</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th>試験名</th> <th>患者数 (N)</th> <th>改善割合 (%)</th> </tr> <tr> <td>MIRACLE</td> <td>228</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>MIRACLE ICD</td> <td>187</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>InSync III Marquis</td> <td>116</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>PROSPECT</td> <td>426</td> <td>69%</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>aCRT, Treatment</td> <td>318</td> <td>74%</td> </tr> </table> <p>過去 ← 過去の心臓再同期療法臨床試験 (全てで定期的なエコーによる至適化を行っている) → AdaptivCRT群</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>傾向スコア解析による過去の心臓再同期療法の臨床試験との比較で、AdaptivCRT機能によって症状改善結果が見られる患者の割合が12%増加する。</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>国際共同治験における両室ペースング率⁴</p>  <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <th>群</th> <th>両室ペースング率 (%)</th> </tr> <tr> <td>AdaptivCRT群 (314例)</td> <td>51.3</td> </tr> <tr> <td>エコー至適化群 (160例)</td> <td>95.1</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>AdaptivCRTの右室同期左室単独ペースング機能により右室ペースングを44%削減し、心機能を改善することが出来る。</p> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <p>出典： 臨床試験時のデータ</p> </div> </div>	試験名	患者数 (N)	改善割合 (%)	MIRACLE	228	67%	MIRACLE ICD	187	58%	InSync III Marquis	116	65%	PROSPECT	426	69%	aCRT, Treatment	318	74%	群	両室ペースング率 (%)	AdaptivCRT群 (314例)	51.3	エコー至適化群 (160例)	95.1
試験名	患者数 (N)	改善割合 (%)																							
MIRACLE	228	67%																							
MIRACLE ICD	187	58%																							
InSync III Marquis	116	65%																							
PROSPECT	426	69%																							
aCRT, Treatment	318	74%																							
群	両室ペースング率 (%)																								
AdaptivCRT群 (314例)	51.3																								
エコー至適化群 (160例)	95.1																								

医療機器に係る保険適用決定区分及び価格（案）

販売名 PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム
 保険適用希望企業 ギブン・イメージング株式会社

販売名	決定区分	主な使用目的
PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム	C 2（新機能・ 新技術）	大腸内視鏡検査を必要とするが、当該検査が施行困難な場合に、大腸疾患の診断を行うために、大腸粘膜の撮像を行い、画像を提供することを目的とする機器である。

○ 保険償還価格

販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比
PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム	81,100 円 (83,100 円)	148 カプセル型内視鏡 77,200 円 改良加算 (ハ) 5%	1.10

※日本での薬事申請が米国での申請と比較して早く、日本における薬事審査期間（申請者側）も基準を満たしているため、迅速な保険導入による加算の対象となる。（加算額及び償還価格の計算根拠は以下の通り）

改良加算 (ハ) 5%による額が 81,100 円であり、加算前の価格との差額は 3,900 円。その半分の 1,950 円が迅速導入による加算額となり、81,100 円に上乗せされる。合計 83,050 円となるが、有効数字 4 桁目を四捨五入して 83,100 円が償還価格となる。

(参考) 迅速な保険導入による加算の考え方

- 1 次のいずれかの要件を満たす場合、迅速な保険導入に係る評価の対象とする。
 - イ 類似機能区分比較方式で新規収載品の基準材料価格を算出する特定保険医療材料で補正加算の要件を満たす場合
 - ロ 原価計算方式で新規収載品の基準材料価格を算出する特定保険医療材料で保険医療材料専門組織において補正加算の要件を満たすものと同等の有用性があると判断された場合
- 2 評価の対象となる要件（次のいずれの要件も満たす必要がある。）
 - イ 日本での薬事法に基づく承認申請がアメリカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出を完了した日から 180 日以内又は日本での薬事法に基づく承認申請がアメ

リカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出を完了した日と比較して早い場合（アメリカ合衆国への食品医薬品化粧品法に基づく承認申請又は市販前届出前を含む。）

ロ 薬事法に基づく総審査期間のうち、申請者側の期間が新医療機器の優先品目又は改良医療機器の臨床ありの場合には150日以内、新医療機器の通常品目の場合には240日以内

3 評価

迅速な保険導入に係る評価は、新規機能区分の価格に追加して、2年間に限り、当該医療機器に対して、補正加算額の50/100又は原価計算方式により算出された額の5/100を算定できることとする。

留意事項案

- 1) 本材料は、大腸内視鏡検査が必要であるが、大腸ファイバースコープ検査が施行困難な患者に用いた場合に限り算定できる。
- 2) 本材料は、カプセル型内視鏡の滞留に適切に対処できる体制が整っている保険医療機関で使用すること。
- 3) 大腸ファイバースコープは、2種類以上行った場合は、主たるもののみ算定する。

次回改定までの準用技術案

D313 大腸ファイバースコープ

3 上行結腸及び盲腸 1,550 点

○ 企業希望価格

販売名	償還価格 (迅速加算 込み価格)	類似機能区分	外国平均 価格との比
PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム	84,900 円 (88,800 円)	148 カプセル型内視鏡 77,200 円 有用性加算 (イ) 10%	1.15

○ 諸外国におけるリストプライス


販売名	アメリカ合衆国	連合王国	ドイツ	フランス	オーストラリア	外国平均価格
PillCam COLON 2 カプセル内視鏡システム	—	69,498 円 (514.8ポンド)	77,933 円 (702.1ユーロ)	—	—	73,716 円

1 ドル = 86 円 1 ポンド=135 円
 1 ユーロ=111 円 1 オーストラリアドル=89 円
 (平成 24 年 8 月～平成 25 年 7 月の日銀による為替レートの平均)

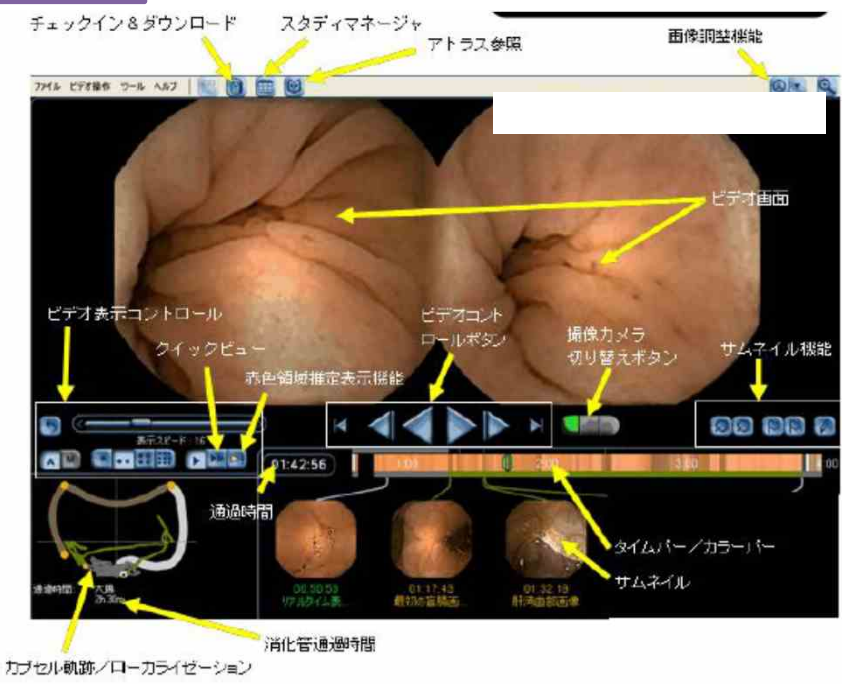
製品概要

1 販売名	PillCam COLON2 カプセル内視鏡システム
2 希望業者	ギブン・イメージング株式会社
3 使用目的	大腸内視鏡検査を必要とするが、当該検査が施行困難な場合に大腸疾患の診断を行うため、大腸粘膜の撮像を行い、画像を提供することを目的とする機器である。

本品写真



検査画像



本品の有用性

- 小腸用カプセル型内視鏡と比べて、撮像カメラが両側に配置し、視野角を拡大することで、複雑な構造の大腸に対応。
- また、リアルタイムにカプセルの移動量を判別し、1秒あたりの撮像枚数を調整することが可能。
- 大腸内視鏡で治療が必要と判断された病変を有する被験者を対象とした感度は以下の通り。

	解析対象例	検出できた例 (%)	検出できなかった例 (%)
n数	66	62(94.0%)	4(6.0%)

出典：
臨床試験時のデータ

1. 医科

新たな保険適用 区分A2(特定包括)(特定の診療報酬項目において包括的に評価されているもの) 保険適用開始年月日:平成25年11月1日

薬事法承認番号	販売名	保険適用希望者	特定診療報酬算定医療機器の区分
21700BZG00014000	コプレーター2 ワンド	株式会社アダチ	高周波電流電気手術器
220AABZI00031000	コプレーター2 ワンド ICW	株式会社アダチ	高周波電流電気手術器
22200BZX00606000	つなぐ	株式会社メテク	腹膜灌流用紫外線殺菌器
22500BZX00364000	オートセット CS-A	レスメド株式会社	在宅人工呼吸器(Ⅰ)
22500BZX00364000			在宅人工呼吸器(Ⅲ)
22500BZX00364000			人工呼吸器
22500BZY00398000	ベッドサイドモニター BSM-1700シリーズ ライフスコープ PT	日本光電工業株式会社	モニター
22500BZX00411000	PillCam SB 3 カプセル内視鏡システム	ギブン・イメージング株式会社	内視鏡
22500BZX00448000	BiPAP Auto System One 60 シリーズ	フィリップス・レスピロニクス合同会社	在宅人工呼吸器(Ⅲ)
22500BZX00448000			人工呼吸器
225AABZX00152000	MAGNETOM プリズマ	シーメンス・ジャパン株式会社	MRI装置
225AABZX00173000	デジタルメディカルスコープ DS-10F	株式会社ニデック	眼底カメラ(Ⅰ)
225AABZX00183000	インピーダンスオージオメータ RS-M1	リオン株式会社	インピーダンスオージオメータ(Ⅱ)
225AABZX00183000			インピーダンスオージオメータ(Ⅲ)
225AABZX00184000	自動 ABR AccuScreen	リオン株式会社	誘発反応測定装置
225ABBZX00139000	デジタルラジオグラフィ CXDI-401G Wireless	キヤノン株式会社	デジタル撮影装置
225ABBZX00140000	デジタルラジオグラフィ CXDI-401C Wireless	キヤノン株式会社	デジタル撮影装置
225ACBZX00030000	超音波診断装置 XARIO 200 TUS-X200	東芝メディカルシステムズ株式会社	超音波検査装置(Ⅱ)
225ACBZX00061000	ヴェサリウススイート α	株式会社吉田製作所	MRI装置
225ACBZX00067000	da Vinci シリーズ高周波手術装置	インテュイティブサージカル合同会社	電気手術器
225ADBZX00120000	デジタルガンマカメラ GCA-9300R	東芝メディカルシステムズ株式会社	エミッションCT装置
225ADBZX00138000	CORE Mobile イメージング システム	ボルケーノ・ジャパン株式会社	超音波検査装置(Ⅳ)
225ADBZX00138000			電子観血圧計
225AGBZX00016000	アクロトーン レボ	東京医研株式会社	低周波治療器
225AGBZX00016000			超音波治療器
225AOBZI00003000	R. Wolfフレキシブルウレテロレンスコープ	ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	内視鏡

新たな保険適用 区分B(個別評価)(材料価格が個別に設定され評価されているもの) 保険適用開始年月日:平成25年11月1日

薬事法承認番号	販売名	保険適用希望者	決定機能区分	償還価格(円)
20600BZZ01078000	アプソキュア-ウンド	日東電工株式会社	008 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
20800BZZ00572000	アプソキュア-サジカル	日東電工株式会社	008 皮膚欠損用創傷被覆材(1)真皮に至る創傷用	1cm ² 当たり¥7
21700BZZ00155000	テンポラリー オクリュージョン バルーンカテーテル IV	富士システムズ株式会社	133 血管内手術用カテーテル(6)オクリュージョンカテーテル②特殊型	¥123,000
21900BZZ00018000	TMP IABP バルーンカテーテル	株式会社東海メディカルプロダクツ	128 バルーンポンピング用バルーンカテーテル(1)一般用標準型	¥191,000
22300BZI00023000	WSH ベディクルスクリュースシステム	有限会社東京メディカルサービス	064 脊椎固定用材料(1)脊椎ロッド	¥45,300
22300BZI00023000			064 脊椎固定用材料(5)脊椎スクリュー(固定型)	¥75,500
22300BZI00023000			064 脊椎固定用材料(6)脊椎スクリュー(可動型)	¥103,000
22300BZI00023000			064 脊椎固定用材料(8)トランスバース固定器	¥66,500
224AABZX00164000	Mallinckrodt 気管チューブ	コヴィディエン ジャパン株式会社	027 気管内チューブ(2)カフなし	¥618
22500BZI00019000	シーティーアイIIヒップシステムN	コリン・ジャパン株式会社	057 人工股関節用材料(2)大腿骨側材料①大腿骨ステム(I)A標準型	¥507,000
22500BZX00021A01	メディポーン60	株式会社カタリメディック	078 人工骨(1)汎用型②吸収型A顆粒・フイバー	1g当たり¥14,300
22500BZX00021A01			078 人工骨(1)汎用型②吸収型イ多孔体i一般型	1mL当たり
22500BZX00316000	TSRH 3Dx スパイナルシステム	メドトロニックソファモアダネック株式会社	064 脊椎固定用材料(5)脊椎スクリュー(固定型)	¥75,500
22500BZX00316000			064 脊椎固定用材料(7)脊椎コネクタ	¥46,400
22500BZX00375000	メビレックス	メンリッケヘルスケア株式会社	101 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
22500BZX00384000	Persona PSセメントシステム	ジンマー株式会社	058 人工膝関節用材料(1)大腿骨側材料②全置換用材料(II)	¥275,000
22500BZX00384000			058 人工膝関節用材料(2)脛骨側材料②全置換用材料(II)	¥166,000
22500BZX00384000			058 人工膝関節用材料(3)膝蓋骨材料①膝蓋骨置換用材料(I)	¥41,700
22500BZX00384000			058 人工膝関節用材料(4)インサート(I)	¥61,300
22500BZX00385000	Persona CSセメントシステム	ジンマー株式会社	058 人工膝関節用材料(1)大腿骨側材料②全置換用材料(II)	¥275,000
22500BZX00385000			058 人工膝関節用材料(4)インサート(I)	¥61,300
22500BZX00397000	KMLS FTステムARC	京セラメディカル株式会社	059 オプション部品(4)再建用強化部品	¥590,000
22500BZX00402000	Viva Quad CRT-Dシリーズ	日本メドトロニック株式会社	144 両室ペーシング機能付き植込型除細動器(2)4極用	¥4,290,000
22500BZX00403000	アテイン パフォーマリード	日本メドトロニック株式会社	113 植込式心臓ペースメーカー用リード(1)リード①経静脈リードE4極	¥138,000
22500BZX00404000	アテイン パフォーママストレートリード	日本メドトロニック株式会社	113 植込式心臓ペースメーカー用リード(1)リード①経静脈リードE4極	¥138,000
22500BZX00406000	NSプレートシステム	株式会社ベアーメディック	060 固定用内副子(スクリュー)(8)その他のスクリュー①標準型A小型スクリュー(頭蓋骨・顔面・上下顎骨用)	¥3,610
22500BZX00406000			061 固定用内副子(プレート)(9)その他のプレート①標準A指骨、頭蓋骨、顔面骨、上下顎骨用iストレート型・異形型	¥13,900
22500BZX00406000			061 固定用内副子(プレート)(9)その他のプレート①標準A指骨、頭蓋骨、顔面骨、上下顎骨用iiメッシュ型	¥81,900
22500BZX00406000			061 固定用内副子(プレート)(9)その他のプレート①標準I頭蓋骨閉鎖用iハーホール型	¥18,200
22500BZX00408000	GMK セメント人工膝関節 モービル	メダクタジャパン株式会社	058 人工膝関節用材料(2)脛骨側材料②全置換用材料(II)	¥166,000
22500BZX00408000			058 人工膝関節用材料(4)インサート(I)	¥61,300
22500BZX00409000	ハイドロサイト ジェントル 銀	スミス・アンド・ネフュー ウンドマネジメント株式会社	008 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
22500BZX00409000			101 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
22500BZX00410000	ハイドロサイト 銀	スミス・アンド・ネフュー ウンドマネジメント株式会社	008 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
22500BZX00410000			101 皮膚欠損用創傷被覆材(2)皮下組織に至る創傷用①標準型	1cm ² 当たり¥12
22500BZX00411000	PillCam SB3 カプセル内視鏡システム	ギブソ・イメージング株式会社	148 カプセル型内視鏡	¥77,200
22500BZX00412000	トゥリアス フェモラルネイルシステム	株式会社エム・イー・システム	073 髄内釘(1)髄内釘③大腿骨頸部型	¥171,000
22500BZX00412000			073 髄内釘(2)横止めスクリュー①標準型	¥16,900
22500BZX00412000			073 髄内釘(2)横止めスクリュー②大腿骨頸部型	¥42,600
22500BZX00413000	メラ遠心ポンプTPC	泉工医科工業株式会社	125 遠心式体外循環用血液ポンプ(1)一般型②抗血栓性なし	¥54,600
22500BZX00414000	バイオラプター ノットレス アンカー	スミス・アンド・ネフュー エンドスコープ株式会社	060 固定用内副子(スクリュー)(8)その他のスクリュー②特殊型A軟骨及び軟部組織用iスチッチアンカー型(スクリュー型)	¥34,300

新たな保険適用 区分B(個別評価)(材料価格が個別に設定され評価されているもの) 保険適用開始年月日:平成25年11月1日

薬事法承認番号	販売名	保険適用希望者	決定機能区分	償還価格(円)
22500BZX00418000	ペンタレイナビ	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	114 体外式ペースメーカー用カテーテル電極 (2) 心臓電気生理学的検査機能付加型 ③ 房室弁輪部型	¥219,000
22500BZX00424000	AutoFIX ダブルスレッドスクリュー	オリンパスヘルモバイオマテリアル株式会社	060 固定用内副子(スクリュー) (8) その他のスクリュー ② 特殊型 i 圧迫調整固定用・両端ねじ型 ii 一般用	¥41,100
22500BZX00425000	FusiFIX トリプルスレッドスクリュー		060 固定用内副子(スクリュー) (8) その他のスクリュー ② 特殊型 i 圧迫調整固定用・両端ねじ型 ii 一般用	¥41,100
22500BZX00426000	MaxAn アンテリア サービカル プレート システム	バイオメット・ジャパン株式会社	064 脊椎固定用材料 (2) 脊椎プレート(S)	¥40,000
22500BZX00426000			064 脊椎固定用材料 (5) 脊椎スクリュー(固定型)	¥75,500
22500BZX00427000	ゴア CTAG 胸部大動脈ステントグラフトシステム	日本ゴア株式会社	146 大動脈用ステントグラフト (3) 胸部大動脈用ステントグラフト(メイン部分) ① 標準型	¥1,620,000
22500BZX00428000	Contour 3Dリング	日本メドトロニック株式会社	122 人工弁輪 (2) 三尖弁用	¥276,000
22500BZX00429000	ALPS ディスタルフィブラ システム	バイオメット・ジャパン株式会社	061 固定用内副子(プレート) (7) 骨端用プレート(生体用合金 I)	¥84,300
22500BZX00429000			060 固定用内副子(スクリュー) (1) 一般スクリュー(生体用合金 I) ① 標準型	¥6,440
22500BZX00430000	Anchor-C サービカルケージシステム	日本ストライカー株式会社	078 人工骨 (2) 専用型 ⑤ 椎体固定用 A 1椎体用	¥174,000
22500BZX00442000	アクアセル フォーム	コンパテックジャパン株式会社	008 皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用 ① 標準型	1cm当たり¥12
22500BZX00442000			101 皮膚欠損用創傷被覆材 (2) 皮下組織に至る創傷用 ① 標準型	1cm当たり¥12
22500BZX00443000	AxSOS Ti Tibia ロッキングプレートシステム	日本ストライカー株式会社	060 固定用内副子(スクリュー) (1) 一般スクリュー(生体用合金 I) ① 標準型	¥6,440
22500BZX00443000			061 固定用内副子(プレート) (7) 骨端用プレート(生体用合金 I)	¥84,300
22500BZX00444000	AxSOS Ti Femur ロッキングプレートシステム	日本ストライカー株式会社	060 固定用内副子(スクリュー) (1) 一般スクリュー(生体用合金 I) ① 標準型	¥6,440
22500BZX00444000			061 固定用内副子(プレート) (7) 骨端用プレート(生体用合金 I)	¥84,300
22500BZX00445000	ARIA インターポディケージ	日本ストライカー株式会社	078 人工骨 (2) 専用型 ⑤ 椎体固定用 A 1椎体用	¥174,000
22500BZX00450000	Libra Single8 ニューロスティミュレータ	セント・ジュード・メディカル株式会社	086 脳・脊髄刺激装置用リード (2) アダプター	¥35,000
22500BZX00451000	Brio Dual8 ニューロスティミュレータ	セント・ジュード・メディカル株式会社	087 植込型脳・脊髄電気刺激装置 (7) 振戦軽減用(16極以上用)充電式	¥2,070,000
22500BZX00452000	DBS 4極リード	セント・ジュード・メディカル株式会社	085 脳深部刺激装置用リードセット(4極用)	¥140,000
22500BZX00452000			086 脳・脊髄刺激装置用リード (2) アダプター	¥35,000
22500BZX00458000	ウルトラフレックスメッシュプレート	株式会社ネクスト21	060 固定用内副子(スクリュー) (8) その他のスクリュー ① 標準型 A 小型スクリュー(頭蓋骨・顔面・上下顎骨用)	¥3,610
22500BZX00458000			061 固定用内副子(プレート) (9) その他のプレート ① 標準 A 指骨、頭蓋骨、顔面骨、上下顎骨用 ii メッシュ型	¥81,900
22500BZX00458000			061 固定用内副子(プレート) (9) その他のプレート ① 標準型 I 頭蓋骨閉鎖用 i バーホル型	¥18,200
22500BZX00458000			071 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ① カスタムメイド人工骨(S)	¥818,000
22500BZX00458000			071 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ② カスタムメイド人工骨(M)	¥924,000
22500BZX00458000			071 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ③ カスタムメイド人工骨(L)	¥947,000
225ADBZX00139000	クロスサー用サポートカテーテル	株式会社メディコン	132 ガイディングカテーテル (2) 腹部四肢末梢用	¥23,500
225AIBZX00054000	BG バルーンカテーテル	ガデリウス・メディカル株式会社	136 胆道結石除去用カテーテルセット (2) 経内視鏡バルーンカテーテル ② トリプルルーメン	¥47,100

新たな保険適用 区分C1(新機能)(新たな機能区分が必要で、技術は既に評価されているもの) 保険適用開始年月日:平成25年11月1日

薬事法承認番号	販売名	保険適用希望者	類似機能区分	暫定価格(円)
22500BZX00324000	ゴアプロパテンバスキュラーグラフト	日本ゴア株式会社	134 人工血管 (1) 永久留置型 (2) 小血管用 A 標準型 i 外部サポートあり	¥3,070
22500BZX00324000			134 人工血管 (1) 永久留置型 (2) 小血管用 A 標準型 ii 外部サポートなし	¥2,250
22500BZX00368000	エヴィア HF-T Pro	バイオトロニックジャパン株式会社	112 ペースメーカー (8) トリプルチャンバ(II型)	¥1,600,000

2. 歯科

新たな保険適用 区分B(個別評価)(材料価格が個別に設定され評価されているもの) 保険適用開始年月日:平成25年11月1日

薬事法承認番号	販売名	保険適用希望者	決定機能区分	償還価格(円)
219ADBZX00191000	セルフライゲーションバツカルチューブ	トミー株式会社	005 チューブ	1 個 ¥422
224AFBZX00096A01	プライムマスター LC	サンメディカル株式会社	037 ダイレクトボンド用ボンディング材	1g ¥834
22500BZX00458000	ウルトラフレックスメッシュプレート	株式会社ネクスト21	002 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ① カスタムメイド人工骨(S)	¥818,000
22500BZX00458000			002 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ② カスタムメイド人工骨(M)	¥924,000
22500BZX00458000			002 カスタムメイド人工関節及びカスタムメイド人工骨 (2) カスタムメイド人工骨 ③ カスタムメイド人工骨(L)	¥947,000
22500BZX00458000			004 固定用内副子(スクリュー) (1) その他のスクリュー ① 標準型 A 小型スクリュー(頭蓋骨・顔面・上下顎骨用)	¥3,610
22500BZX00458000			005 固定用内副子(プレート) (1) その他のプレート ① 標準 A 指骨、頭蓋骨、顔面骨、上下顎骨用 ii メッシュ型	¥81,900

第19回医療経済実態調査（医療機関等調査）報告
（平成25年11月6日公表）の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、病院、一般診療所及び歯科診療所並びに保険薬局における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備することを目的として、中央社会保険医療協議会が実施したものである。

(2) 調査の対象及び客体

社会保険による診療を行っている全国の病院、一般診療所及び歯科診療所並びに保険調剤を行っている全国の保険薬局のうち1ヶ月の調剤報酬明細書の取扱件数が300件以上の薬局を対象とし、これらの医療機関等を、地域別等に層化し、次の抽出率で無作為に抽出した施設を調査客体とした。

なお、特定機能病院、歯科大学病院及びこども病院については、別途、全ての施設を調査客体とした。

病 院	1 / 3
一般診療所	1 / 20
歯科診療所	1 / 50
保 険 薬 局	1 / 25

(3) 有効回答数、回答率

	調査対象 施設数	有効回答数（回答率）	（参考）前回調査の 有効回答数、回答率
病 院	2,621	1,429（54.5%）	1,401（52.4%）
一般診療所	3,389	1,715（50.6%）	1,450（46.2%）
歯科診療所	1,170	645（55.1%）	603（53.6%）
保 険 薬 局	1,676	915（54.6%）	886（57.5%）

（注）特定機能病院、歯科大学病院、こども病院は含まない。

(4) 調査の時期

平成24年4月から平成25年3月末までに終了した事業年（度）（以下「前年（度）」という。）及び平成23年4月から平成24年3月末までに終了した事業年（度）（以下「前々年（度）」という。）の2期間について調査した。

2. 集計結果

(1) 1施設あたりの損益状況

① 一般病院（報告書 p10-13）

（医療法人） 報告書 p10

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	1,723,348	99.8%	1,737,557	99.8%	0.8%
II 介護収益	3,072	0.2%	2,802	0.2%	▲8.8%
III 医業・介護費用	1,652,361	95.7%	1,664,154	95.6%	0.7%
IV 損益差額（I + II - III）	74,058	4.3%	76,205	4.4%	—
施設数	471	—	471	—	—
平均病床数	131	—	131	—	—

（注1） 医業・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の医療機関の集計である。（特定機能病院等は含まない。）（以下同様）

（注2） 合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。（以下同様）

（注3） 「構成比率」は、「I 医業収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する割合である。（以下同様）

（国立） 報告書 p10

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,930,064	100.0%	6,114,187	100.0%	3.1%
II 介護収益	0	0.0%	0	0.0%	—
III 医業・介護費用	5,957,375	100.5%	6,118,156	100.1%	2.7%
IV 損益差額（I + II - III）	▲27,311	▲0.5%	▲3,969	▲0.1%	—
施設数	27	—	27	—	—
平均病床数	393	—	393	—	—

（注） 「国立」とは、独立行政法人国立病院機構、独立行政法人労働者健康福祉機構が開設する病院、国立高度専門医療研究センターのことである。

(公立) 報告書 p10

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,402,275	100.0%	5,524,189	100.0%	2.3%
II 介護収益	2,037	0.0%	2,070	0.0%	1.6%
III 医業・介護費用	5,754,003	106.5%	5,845,229	105.8%	1.6%
IV 損益差額(I+II-III)	▲349,690	▲6.5%	▲318,970	▲5.8%	—
施設数	177	—	177	—	—
平均病床数	277	—	277	—	—

(注)「公立」とは、都道府県立、市町村立、地方独立行政法人立病院である。

(全体) 報告書 p12

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	3,144,500	99.9%	3,208,341	99.9%	2.0%
II 介護収益	3,166	0.1%	3,280	0.1%	3.6%
III 医業・介護費用	3,176,986	100.9%	3,222,986	100.4%	1.4%
IV 損益差額(I+II-III)	▲29,320	▲0.9%	▲11,365	▲0.4%	—
施設数	883	—	883	—	—
平均病床数	190	—	190	—	—

(注)「全体」とは、医療法人、国公立のほか、公的(日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会)、社会保険関係法人(全国社会保険協会連合会、厚生年金事業振興団、船員保険協会、健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合)、個人などを含む全体である。

〔参考〕(国公立を除く全体) 報告書 p13

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	2,445,183	99.9%	2,489,103	99.9%	1.8%
II 介護収益	3,586	0.1%	3,725	0.1%	3.9%
III 医業・介護費用	2,394,655	97.8%	2,424,302	97.3%	1.2%
IV 損益差額(I+II-III)	54,113	2.2%	68,526	2.7%	—
施設数	679	—	679	—	—
平均病床数	159	—	159	—	—

[参考] (国公立) 報告書 p13

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	5,472,130	100.0%	5,602,277	100.0%	2.4%
II 介護収益	1,767	0.0%	1,796	0.0%	1.6%
III 医業・介護費用	5,780,920	105.6%	5,881,351	104.9%	1.7%
IV 損益差額(I+II-III)	▲307,022	▲5.6%	▲277,278	▲4.9%	—
施設数	204	—	204	—	—
平均病床数	293	—	293	—	—

② 精神科病院 (報告書 p14-15)

(全体) 報告書 p14

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	1,452,444	100.0%	1,455,881	100.0%	0.2%
II 介護収益	594	0.0%	633	0.0%	6.6%
III 医業・介護費用	1,453,656	100.0%	1,465,809	100.6%	0.8%
IV 損益差額(I+II-III)	▲617	▲0.0%	▲9,294	▲0.6%	—
施設数	186	—	186	—	—
平均病床数	246	—	246	—	—

③ 一般診療所（報告書 p24-27）

〔入院診療収益あり〕

（個人） 報告書 p24

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	192,452	98.6%	196,712	98.6%	2.2%
II 介護収益	2,643	1.4%	2,737	1.4%	3.6%
III 医業・介護費用	152,124	78.0%	155,871	78.2%	2.5%
IV 損益差額（I＋II－III）	42,971	22.0%	43,578	21.8%	—
施設数	40	—	40	—	—

（注1）調査に回答した全ての医療機関の集計である。（以下同様）

（注2）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p25

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	321,247	98.1%	324,276	98.1%	0.9%
II 介護収益	6,068	1.9%	6,358	1.9%	4.8%
III 医業・介護費用	308,985	94.4%	313,736	94.9%	1.5%
IV 損益差額（I＋II－III）	18,330	5.6%	16,897	5.1%	—
施設数	90	—	90	—	—

（全体） 報告書 p27

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	280,488	98.3%	284,073	98.2%	1.3%
II 介護収益	4,976	1.7%	5,204	1.8%	4.6%
III 医業・介護費用	259,769	91.0%	264,250	91.3%	1.7%
IV 損益差額（I＋II－III）	25,695	9.0%	25,027	8.7%	—
施設数	131	—	131	—	—

（注）「全体」とは、個人、医療法人のほか、市町村立などを含む全体である。（以下同様）

〔入院診療収益なし〕

(個人) 報告書 p24

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	83,970	99.9%	85,849	99.9%	2.2%
II 介護収益	78	0.1%	113	0.1%	44.9%
III 医業・介護費用	59,627	70.9%	59,828	69.6%	0.3%
IV 損益差額(I+II-III)	24,422	29.1%	26,134	30.4%	—
施設数	733	—	733	—	—

(注) 個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

(医療法人) 報告書 p25

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	140,282	98.1%	141,778	98.0%	1.1%
II 介護収益	2,692	1.9%	2,854	2.0%	6.0%
III 医業・介護費用	134,740	94.2%	135,619	93.8%	0.7%
IV 損益差額(I+II-III)	8,234	5.8%	9,013	6.2%	—
施設数	772	—	772	—	—

(全体) 報告書 p27

(単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	112,973	98.6%	114,690	98.6%	1.5%
II 介護収益	1,566	1.4%	1,667	1.4%	6.4%
III 医業・介護費用	98,603	86.1%	99,102	85.2%	0.5%
IV 損益差額(I+II-III)	15,936	13.9%	17,255	14.8%	—
施設数	1,532	—	1,532	—	—

〔全体（入院診療収益あり及び入院診療収益なし）〕

（個人） 報告書 p24

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	89,584	99.8%	91,586	99.7%	2.2%
II 介護収益	211	0.2%	249	0.3%	18.0%
III 医業・介護費用	64,413	71.7%	64,798	70.6%	0.6%
IV 損益差額（I + II - III）	25,381	28.3%	27,036	29.4%	—
施設数	773	—	773	—	—

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p25

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	159,176	98.1%	160,832	98.0%	1.0%
II 介護収益	3,045	1.9%	3,220	2.0%	5.7%
III 医業・介護費用	152,933	94.3%	154,216	94.0%	0.8%
IV 損益差額（I + II - III）	9,288	5.7%	9,836	6.0%	—
施設数	862	—	862	—	—

（全体） 報告書 p27

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	126,168	98.6%	128,033	98.5%	1.5%
II 介護収益	1,835	1.4%	1,946	1.5%	6.0%
III 医業・介護費用	111,298	86.9%	112,111	86.3%	0.7%
IV 損益差額（I + II - III）	16,705	13.1%	17,867	13.7%	—
施設数	1,663	—	1,663	—	—

④ 歯科診療所（報告書 p28）

（個人） 報告書 p28

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	41,891	99.8%	42,221	99.8%	0.8%
II 介護収益	85	0.2%	97	0.2%	14.1%
III 医業・介護費用	31,141	74.2%	31,354	74.1%	0.7%
IV 損益差額（I＋II－III）	10,834	25.8%	10,964	25.9%	－
施設数	492	－	492	－	－

（注）個人立の歯科診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（医療法人） 報告書 p28

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	75,224	99.9%	75,682	99.9%	0.6%
II 介護収益	52	0.1%	56	0.1%	7.7%
III 医業・介護費用	70,180	93.2%	70,639	93.3%	0.7%
IV 損益差額（I＋II－III）	5,097	6.8%	5,098	6.7%	－
施設数	103	－	103	－	－

（全体） 報告書 p28

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	48,133	99.8%	48,514	99.8%	0.8%
II 介護収益	86	0.2%	97	0.2%	12.8%
III 医業・介護費用	38,488	79.8%	38,743	79.7%	0.7%
IV 損益差額（I＋II－III）	9,731	20.2%	9,868	20.3%	－
施設数	598	－	598	－	－

（注）「全体」とは、個人、医療法人のほか、市町村立などを含む全体である。

⑤ 保険薬局（報告書 p29）

（個人） 報告書 p29

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	97,572	99.9%	98,972	99.9%	1.4%
II 介護収益	58	0.1%	52	0.1%	▲10.3%
III 費用	87,241	89.4%	89,220	90.1%	2.3%
IV 損益差額（I + II - III）	10,389	10.6%	9,804	9.9%	—
施設数	78	—	78	—	—
処方せん枚数	12,811	—	12,811	—	—

（注1）「処方せん枚数」とは、前年（度）1年間の1施設あたりの平均処方せん枚数である。（以下同様）

（注2）個人立の保険薬局の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（法人） 報告書 p29

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	168,276	99.9%	172,029	99.9%	2.2%
II 介護収益	171	0.1%	198	0.1%	15.8%
III 費用	157,841	93.7%	163,070	94.7%	3.3%
IV 損益差額（I + II - III）	10,606	6.3%	9,157	5.3%	—
施設数	837	—	837	—	—
処方せん枚数	19,634	—	19,634	—	—

（全体） 報告書 p29

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	162,249	99.9%	165,801	99.9%	2.2%
II 介護収益	161	0.1%	185	0.1%	14.9%
III 費用	151,822	93.5%	156,774	94.5%	3.3%
IV 損益差額（I + II - III）	10,588	6.5%	9,212	5.5%	—
施設数	915	—	915	—	—
処方せん枚数	19,052	—	19,052	—	—

（注）「全体」とは、個人、法人である。

(同一法人の保険調剤を行っている店舗数別) (報告書 p199)

○ 1店舗 報告書 p199 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	144,514	99.9%	147,742	99.9%	2.2%
II 介護収益	138	0.1%	122	0.1%	▲11.6%
III 費用	141,386	97.7%	145,223	98.2%	2.7%
IV 損益差額 (I + II - III)	2,266	2.3%	2,641	1.8%	—
施設数	46	—	46	—	—
処方せん枚数	16,927	—	16,927	—	—

○ 2～5店舗 報告書 p199 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	155,232	99.9%	158,473	99.9%	2.1%
II 介護収益	196	0.1%	217	0.1%	10.7%
III 費用	148,586	95.6%	153,061	96.5%	3.0%
IV 損益差額 (I + II - III)	6,843	4.4%	5,630	3.5%	—
施設数	467	—	467	—	—
処方せん枚数	18,818	—	18,818	—	—

○ 20店舗以上 報告書 p199 (単位：千円、%)

	前々年(度)		前年(度)		金額の伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 収益	217,662	99.9%	222,510	99.9%	2.2%
II 介護収益	147	0.1%	212	0.1%	44.2%
III 費用	197,504	90.7%	204,060	91.6%	3.3%
IV 損益差額 (I + II - III)	20,306	9.3%	18,662	8.4%	—
施設数	161	—	161	—	—
処方せん枚数	22,143	—	22,143	—	—

(2) 職種別常勤職員 1人平均給料年(度)額等

① 一般病院 (報告書 p201-203)

(医療法人) 報告書 p202

(単位:円、%)

	前々年(度)			前年(度)			金額の伸び率
	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	①+②	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	①+②	
病院長	30,048,191	404,266	30,452,458	30,551,052	426,578	30,977,630	1.7%
医師	14,650,805	812,851	15,463,656	15,067,637	829,212	15,896,848	2.8%
歯科医師	9,022,425	623,813	9,646,238	9,114,221	719,694	9,833,916	1.9%
薬剤師	4,242,641	830,337	5,072,978	4,242,214	821,765	5,063,978	▲0.2%
看護職員	3,596,316	762,840	4,359,157	3,624,913	769,854	4,394,766	0.8%
医療技術員	3,306,340	725,821	4,032,162	3,285,035	724,752	4,009,787	▲0.6%

(注1)「看護職員」とは、保健師、助産師、看護師、准看護師である。(以下同様)

(注2)「医療技術員」とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、作業療法士など医療に関わる専門技術員(歯科衛生士及び歯科技工士は除く)である。(以下同様)

(注3)合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。(以下同様)

(国立) 報告書 p201

(単位:円、%)

	前々年(度)			前年(度)			金額の伸び率
	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	①+②	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	① ②	
病院長	14,845,560	5,533,252	20,378,812	14,259,645	5,384,686	19,644,330	▲3.6%
医師	12,111,561	2,636,874	14,748,435	12,183,280	2,728,633	14,911,913	1.1%
歯科医師	9,711,298	2,040,633	11,751,930	10,083,976	2,247,167	12,331,143	4.9%
薬剤師	4,970,316	1,424,452	6,394,768	4,821,224	1,397,594	6,218,818	▲2.8%
看護職員	3,988,357	1,079,737	5,068,094	3,998,378	1,085,812	5,084,190	0.3%
医療技術員	4,556,465	1,299,303	5,855,768	4,505,157	1,271,963	5,777,121	▲1.3%

(公立) 報告書 p201

(単位:円、%)

	前々年(度)			前年(度)			金額の伸び率
	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	①+②	平均給料年(度)額(①)	賞与(②)	①+②	
病院長	16,958,525	3,471,828	20,430,352	17,212,993	3,489,879	20,702,872	1.3%
医師	13,032,487	2,176,783	15,209,270	12,969,669	2,197,737	15,167,406	▲0.3%
歯科医師	11,407,225	2,226,898	13,634,123	11,688,238	2,226,721	13,914,960	2.1%
薬剤師	4,856,914	1,327,985	6,184,899	4,802,877	1,303,246	6,106,123	▲1.3%
看護職員	4,246,593	1,155,653	5,402,245	4,233,554	1,152,718	5,386,271	▲0.3%
医療技術員	4,492,687	1,255,036	5,747,723	4,435,043	1,238,611	5,673,655	▲1.3%

② 一般診療所（報告書 p206）

（医療法人） 報告書 p206

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	① ②	
院長	28,111,870	74,401	28,186,271	27,783,258	90,477	27,873,734	▲1.1%
医師	12,960,610	186,158	13,146,768	13,157,145	197,941	13,355,085	1.6%
薬剤師	6,692,768	375,154	7,067,922	6,942,518	488,962	7,431,480	5.1%
看護職員	2,890,491	582,329	3,472,820	2,900,610	579,152	3,479,762	0.2%
医療技術員	3,092,855	577,794	3,670,649	3,108,040	575,384	3,683,424	0.3%

（注1）「医療技術員」とは、診療放射線技師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、作業療法士など医療に関わる専門技術員である。（以下同様）

（個人） 報告書 p206

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	—	—	—	—	—	—	—
医師	11,089,971	2,005,211	13,095,182	11,438,897	2,006,620	13,445,517	2.7%
薬剤師	6,117,551	1,738,510	7,856,061	6,133,040	1,752,322	7,885,361	0.4%
看護職員	2,990,735	585,820	3,576,555	2,963,008	589,591	3,552,600	▲0.7%
医療技術員	2,867,347	603,620	3,470,967	3,585,628	733,221	4,318,849	24.4%

③ 歯科診療所（報告書 p207）

（医療法人） 報告書 p207

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	12,335,405	154,759	12,490,164	12,356,850	160,843	12,517,694	0.2%
歯科医師	6,842,722	206,766	7,049,487	7,042,787	191,326	7,234,114	2.6%
歯科衛生士	2,452,282	347,618	2,799,900	2,537,216	359,830	2,897,046	3.5%
歯科技工士	3,753,834	553,599	4,307,433	3,607,093	560,495	4,167,588	▲3.2%
薬剤師	*	*	*	*	*	*	*

（個人） 報告書 p207

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
院長	—	—	—	—	—	—	—
歯科医師	5,393,184	731,870	6,125,054	5,482,893	765,896	6,248,789	2.0%
歯科衛生士	2,328,382	334,918	2,663,300	2,414,022	359,212	2,773,235	4.1%
歯科技工士	3,742,085	505,534	4,247,620	3,816,756	523,492	4,340,248	2.2%
薬剤師	*	*	*	*	*	*	*

④ 保険薬局（報告書 p208）

（法人） 報告書 p208

（単位：円、％）

	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
管理薬剤師	6,564,509	682,965	7,247,474	6,735,296	687,915	7,423,211	2.4%
薬剤師	3,946,578	591,969	4,538,547	4,049,731	573,590	4,623,321	1.9%

（個人） 報告書 p208

（単位：円、％）

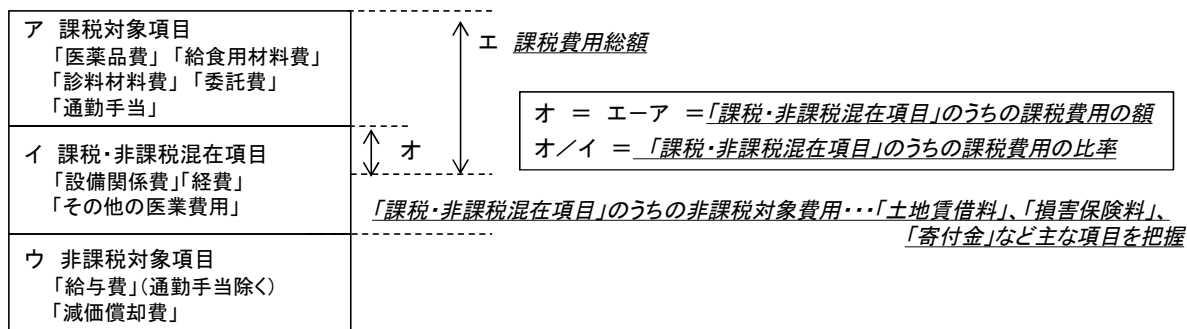
	前々年（度）			前年（度）			金額の伸び率
	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	平均給料年 （度）額①	賞与②	①+②	
管理薬剤師	—	—	—	—	—	—	—
薬剤師	3,171,754	540,771	3,712,525	3,260,422	505,007	3,765,429	1.4%

(3) 消費税負担の状況 (「別冊 消費税関連の集計結果」)

- 平成 26 年 4 月に予定される消費税率引き上げに備え、医療機関等における消費税負担の状況を把握するための費用構造に係る推計（以下「費用構造推計」という。）を適切に実施するために、今回の調査では課税費用総額（以下の図のエ）や、「課税・非課税混在項目の費用の額のうち、課税費用が占める比率」（以下の図のオ／イ）などの係数を算出した（「消費税課税費用・非課税費用の詳細状況」（p4-11）参照）。

<病院の費用構造のイメージ>

※今回新たに集計・算出した項目は、図の斜字・下線部分



- 上記の新たに調査した項目への有効な回答数は、医療経済実態調査における全ての有効回答数のうちの一部にとどまる（病院では約3分の1未満）。そのため、上記の医療機関等における費用構造推計については、全ての有効回答から集計した損益データ（上図のアやイの課税費用項目ごとの費用負担額）をベースとして、これに新たな調査項目の結果から算出した係数（上図のオ／イ）を組み合わせ推計していくことが必要であり、今後、「医療機関等における消費税負担に関する分科会」において推計結果を公表し、御議論いただく予定である。

〔参考〕青色申告者の状況（「別冊 青色申告者（省略形式）の集計結果」）

1. 集計結果（1施設あたりの損益状況）

（1）一般診療所（個人）（別冊報告書 p4）

〔入院診療収益あり〕

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	*	*	*	*	—
II 介護収益	*	*	*	*	—
III 医業・介護費用	*	*	*	*	—
IV 損益差額（I＋II－III）	*	*	*	*	—
施設数	*	—	*	—	—

（注1）損益状況における数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。（以下同様）

（注2）「構成比率」は、「I 医業収益」と「II 介護収益」を合算した金額に対する各収益科目、又は費用科目の割合である。（以下同様）

（注3）施設数が1または2の場合、当該集計区分の数値を「*」で秘匿した。

（注4）調査に回答した全ての医療機関の集計である。（以下同様）

〔入院診療収益なし〕

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	90,220	99.0%	90,590	99.0%	0.4%
II 介護収益	932	1.0%	928	1.0%	▲0.4%
III 医業・介護費用	62,118	68.1%	62,527	68.3%	0.7%
IV 損益差額（I＋II－III）	29,034	31.9%	28,991	31.7%	—
施設数	50	—	50	—	—

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

〔全体（入院診療収益あり及び入院診療収益なし）〕

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	95,646	98.5%	93,985	98.4%	▲1.7%
II 介護収益	1,487	1.5%	1,563	1.6%	5.1%
III 医業・介護費用	67,802	69.8%	67,529	70.7%	▲0.4%
IV 損益差額（I + II - III）	29,331	30.2%	28,019	29.3%	—
施設数	52	—	52	—	—

（注）個人立の一般診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

（2）歯科診療所（個人）（別冊報告書 p5）

（単位：千円、％）

	前々年（度）		前年（度）		金額の 伸び率
	金額	構成比率	金額	構成比率	
I 医業収益	39,208	100.0%	39,366	100.0%	0.4%
II 介護収益	1	0.0%	12	0.0%	1,100.0%
III 医業・介護費用	29,725	75.8%	30,153	76.6%	1.4%
IV 損益差額（I + II - III）	9,483	24.2%	9,226	23.4%	—
施設数	47	—	47	—	—

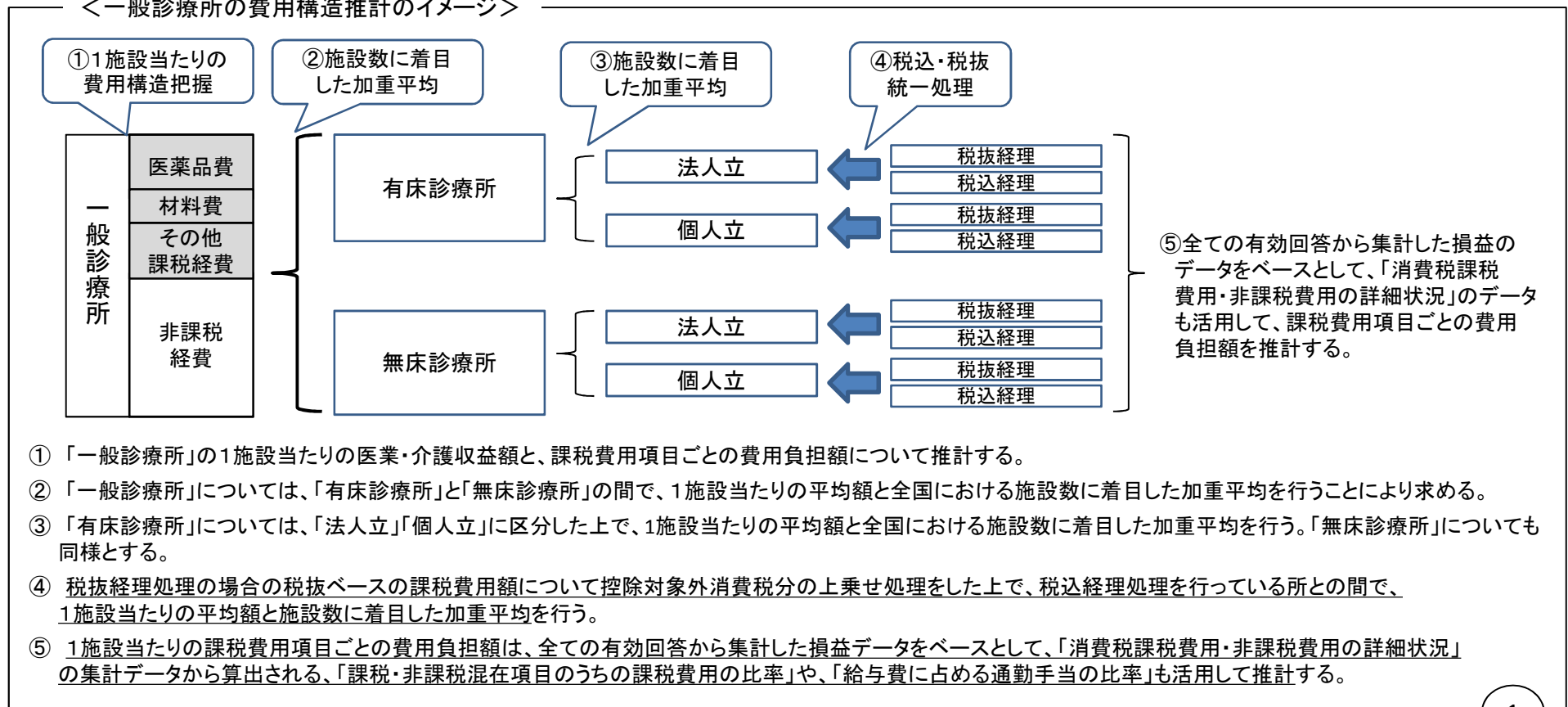
（注）個人立の歯科診療所の損益差額からは、開設者の報酬となる部分以外に、建物、設備について現存物の価値以上の改善を行うための内部資金に充てられることが考えられる。

現時点で想定される「費用構造推計」の手法の概要について

医療機関等における消費税負担の状況を把握するための費用構造推計について、現時点で想定される基本的な手法の概要は以下のとおりであるが、今後、「医療機関等における消費税負担に関する分科会」において御議論をいただく必要がある。

- 「病院」「一般診療所」「歯科診療所」「薬局」別の、1施設当たりの医業収益及び介護収益の合計額(以下「医業・介護収益」と、「医業・介護費用」に係る「医薬品費」「材料費」「その他課税経費」などの課税費用項目ごとの費用負担額について推計する。
- 推計の過程では、施設カテゴリ別(※)、開設主体別(法人立、個人立)に医業・介護収益や課税費用について把握した上で、全国における施設数に着目した加重平均処理や、経理方式(税抜、税込)の違いに着目した処理を実施する。
(※病院でいえば一般病院、精神科病院、特定機能病院、こども病院の4区分、一般診療所でいえば、有床診療所、無床診療所の2区分が考えられる。)
- 利用するデータは、医療経済実態調査における全ての有効回答から集計した損益のデータをベースとしつつ、今回新たに調査した「消費税課税費用・非課税費用の詳細状況」(別冊 消費税関連の集計結果)で算出した係数を組み合わせて推計を行う。

＜一般診療所の費用構造推計のイメージ＞



- ① 「一般診療所」の1施設当たりの医業・介護収益額と、課税費用項目ごとの費用負担額について推計する。
- ② 「一般診療所」については、「有床診療所」と「無床診療所」の間で、1施設当たりの平均額と全国における施設数に着目した加重平均を行うことにより求める。
- ③ 「有床診療所」については、「法人立」「個人立」に区分した上で、1施設当たりの平均額と全国における施設数に着目した加重平均を行う。「無床診療所」についても同様とする。
- ④ 税抜経理処理の場合の税抜ベースの課税費用額について控除対象外消費税分の上乗せ処理をした上で、税込経理処理を行っている所との間で、1施設当たりの平均額と施設数に着目した加重平均を行う。
- ⑤ 1施設当たりの課税費用項目ごとの費用負担額は、全ての有効回答から集計した損益データをベースとして、「消費税課税費用・非課税費用の詳細状況」の集計データから算出される、「課税・非課税混在項目のうちの課税費用の比率」や、「給与費に占める通勤手当の比率」も活用して推計する。

議論の中間的な整理（費用対効果評価専門部会）（案）

平成 25 年 11 月 6 日

医療分野のイノベーションの進展によって、より高い治療効果等が期待される医療技術が選択できるようになる一方で、高い治療効果等が期待される医療技術の中には費用が大きなものがあるため、これらの増加による医療保険財政への影響についての懸念や費用の大きな医療技術の中には、必ずしも治療効果等が十分に高いとは言えないものがあるという指摘がある。

医療技術の費用対効果評価については、「平成 24 年度診療報酬改定に係る答申書附帯意見」において、『革新的な新規医療材料やその材料を用いる新規技術、革新的な医薬品の保険適用の評価に際し、費用対効果の観点から可能な範囲で導入することについて検討を行うこと』とされたことを踏まえ、中央社会保険医療協議会費用対効果評価専門部会を平成 24 年 4 月に設置し、以後計 13 回の議論を行った。

検討の内容としては、「制度の基本的考え方」について議論を行った後に、「具体的な評価の運用手法」を「評価手法」と「具体的な評価の活用手法」に分けた上で、取り扱った。

これまでの本部会での議論を踏まえ、認識の共有のため、議論の中間的な整理を行うこととする。

1. 医療技術の費用対効果評価の必要性について

(1) 現行制度における費用対効果評価の取り扱いについて、下記のような指摘がなされた。

- ① 現行の医療技術の評価においては、安全性・有効性を中心として総合的な評価を行っており、費用対効果については、保険適用を希望する際に費用対効果に関する資料の提出等を求める等の対応を行っているが、医薬品、医療材料、医療者等の技術の3分野で取り扱いが異なっている。
- ② 費用対効果の評価結果を明示的な加算の要件とする等の具体的な判断基準が設定されておらず、費用対効果の評価が医療保険上の評価に必ずしも反映されていない。
- ③ さらに、費用対効果評価に関する資料の提出等を行った場合であっても、提出資料の検証を行う等の対応は行われていない。

(2) これらの考え方を踏まえ、医療保険上の評価を行うにあたり、著しく従来技術よりも高額な費用を要する技術等一定の要件を満たす医療技術を対象として、効果（安全性・有効性等）のみならず、費用も考慮した評価を行うため、医療技術の費用対効果評価について導入を検討する必要性が確認された。

2. 制度の基本的な考え方

(1) 対象技術について

対象技術については、下記の原則に基づくことが確認された。

- ① 希少な疾患を対象としないこと。
- ② 対象となる疾病について代替性のある他の医療技術が存在すること。
- ③ 代替する医療技術と比較して、有用性の観点から、財政影響が大きい可能性があること。
- ④ 安全性・有効性等が一定程度確立していること。

ただし、上記以外のものについても、今後の検討により必要がある場合は、対象とすることもあるのではないかという指摘もあった。

(2) 結果活用について

結果活用については、下記の原則に基づくことが確認された。

- ① 医療技術の評価については、安全性・有効性の評価をはじめ、様々な観点からの評価を総合的に勘案するという考え方を基本的に維持しつつ、費用対効果評価の結果を活用し、より妥当な医療技術の評価を目指すものとする。
- ② 費用対効果評価は医療技術の評価の一部であり、費用対効果評価の結果のみをもって保険収載の可否や償還価格を判定・評価するものではない。また、費用対効果評価の結果の判定の目安等についても、一定の柔軟性を持ったものとし、硬直的な運用を避けるものとする。
- ③ 費用及び効果の双方の観点からの評価を行うものであり、費用の観点のみの評価を行うものではない。

(3) 用語の定義について

以下の3つを総称して、医療技術と呼ぶこととする。

- 医薬品
- 医療材料
- 医療者等の技術（手術など）

3. 分析 (assessment) と評価 (appraisal) の区分について

諸外国における取り組みを踏まえると、費用対効果評価を用いた意思決定プロセスは下記の3要素に整理できる。

(1) 分析 (assessment)

実際の費用対効果の分析を行い、増分費用効果比等を算出する。

(2) 評価 (appraisal)

より幅広い社会的側面も考慮しながら、得られた費用対効果分析の結果を解釈する。

(3) 意思決定 (decision)

上記の結果から実際の意思決定を行う。

諸外国においては、分析 (assessment) の結果をもって一律に意思決定 (decision) を行っているわけではなく、評価 (appraisal) によって、より幅広い社会的側面も勘案していることから、我が国においても、客観的な分析 (assessment) のみをもって、一律に意思決定 (decision) を行うことなく、分析 (assessment) の結果を様々な要素を加味した上で評価 (appraisal) し、意思決定 (decision) を行う方向で検討を進めることが確認された。

4. 具体的な評価の運用手法について

(1) 評価手法

費用対効果評価の具体的な手法については、下記の項目等について議論が行われた。

なお、諸外国においては、費用対効果評価における分析 (assessment) の方法等について、ガイドラインを定め、標準化を図っていることが多いことから、我が国でも、分析 (assessment) の透明性、再現性、科学的妥当性等を向上させるため、ガイドライン等によって標準的な手法を定めるべきという指摘があった。

① 効果指標の取り扱い

費用対効果評価の効果指標については、QOL を反映した生存期間である質調整生存年 (QALY)、生存年 (LY)、臨床検査値、治癒率、重症度、発生率 (例えば脳卒中の発生率など) 等が検討の対象となった。

効果指標について検討するにあたっては、下記のような点が指摘された。

- (ア) 医療技術の多様性 (対象疾患や治療方法等の多様性) に対応可能なよう、一定の普遍性を有するとともに、比較可能性等に留意した効果指標を用いることが求められる。
- (イ) 医療におけるゴールとしては、寿命の保持・延長 (特に、若年期の死を予防することによる。)、QOL の維持・向上 (特に苦痛の除去による) が重要である。

それぞれの効果指標の特徴については、下記のように整理された。

(ア) QALY(質調整生存年)について

- i 生存年と生活の質(QOL)の双方を考慮し、包括的な評価が可能である。
- ii 疾患に依存せず、異なる疾患でも比較が可能である。
- iii 諸外国で幅広く利用されており、既に一定の運用実績がある。更に、
海外データの活用も考慮可能である。
- iv データの収集や分析に多くの労力を要することがある。
- v 長期的な予後の推計が必要になることがある。

(イ) LY(生存年)について

- i 致命的な疾患においては、確立された指標と言え、諸外国でも幅広く利用されている。
- ii 致命的な疾患同士での比較においては、疾患に依存しない。(異なる疾患間での比較が可能)
- iii 客観的な指標であるが、QOLは考慮されず、包括的な評価とならない可能性がある。
- iv 長期的な予後の推計が必要になることがある。

(ウ) 臨床検査値、治癒率、重症度、発生率等について

- i 疾患等に応じた指標が利用可能である。
- ii データの入手が容易である。(臨床試験等での指標も活用可能)
- iii 異なる指標間での比較が困難である。
- iv 当該医療技術がもたらす効果を包括しているとは限らない。
- v 判断基準を個々の指標に応じて設ける必要がある。

また、効果指標の取り扱いについては、

- I. 疾患や医療技術横断的に使用できることや、患者自身によるQOL評価の重要性を鑑みてQALYの使用を検討してもよいのではないか。
- II. 諸外国においては原則としてQALYを使用するか、あるいは1つのオプションとして利用していることが多い。

という意見がある一方で、

III. 諸外国の先行例において、QALY の評価を一律に適応し、保険適用の可否に活用することについては、弊害がある可能性が報告されている。

IV. QOL 以外の指標で、患者の機能をより反映する指標がないか検討してはどうか。

V. 疾患の好発年齢による影響があるのではないか。

といった意見もあった。

【方向性】

以上を受けて、効果指標に関する取り扱いについては、QALY を用いた増分費用効果比 (ICER : incremental cost-effectiveness ratio) を単一の指標とした機械的な運用により保険収載の可否を判断することは行わないことを前提とし、我が国の医療制度や医療現場の実情を踏まえつつ、質調整生存年 (QALY)、生存年 (LY)、臨床検査値、治癒率、重症度、発生率等を効果指標とする際の運用方法やそれらの組み合わせのあり方等を今後検討する。

また、費用対効果評価においては、効果指標の取り扱いと合わせて、評価 (appraisal) において医療技術をどのように評価するのが重要である。効果指標で捉えきれない医療技術の側面は、評価 (appraisal) において勘案することも考慮することを検討する。

② 費用の範囲や取り扱い

費用には下記のような種類のものがあることが確認された。

(ア) 公的医療費

公的医療保険制度における医療費 (自己負担分含む)

(イ) 公的介護費

公的介護保険制度における介護費 (自己負担分含む)

(ウ) 生産性損失

仕事や家事ができないことによる生産性の損失

(エ) 家族等による介護等の費用

家族等が介護やケアを行うことによる費用

(オ) その他

費用の範囲や取り扱いについては、

- I. 医療技術が公的医療保険に与える影響について検討を行う観点から、公的医療費のみの検討で十分ではないか。
- II. 生産性損失は推計方法等によるばらつきが大きいので、費用として含めることには慎重であるべきではないか。

等の意見がある一方で、

- III. 生産性損失が減少することが、社会的な観点等から重要な場合がありえるので、何らかの形で勘案することがあってもいいのではないか。

という意見もあった。

【方向性】

以上を受けて、費用の範囲や取り扱いについては、公的医療費のみを費用の範囲に含めることを原則としながら、公的介護費、生産性損失を費用に含めた分析を同時に提出することを可能とするなど、公的医療費とそれ以外の費用の取り扱いを明確に区別しつつ、今後の検討を行う。

③ 比較対照のあり方

比較対照のあり方については、下記のような確認・指摘がなされた。

- I. 比較対照とする医療技術は、既に医療保険制度で利用されているものであることが必要である。(比較対照が「無治療」である場合を除く。)
- II. 診療現場での使用実態を踏まえて検討する必要がある。
- III. 諸外国では、診療現場で幅広く使われており、当該医療技術の導入によって置き換えられる医療技術としていることが多い。

【方向性】

以上を受けて、我が国において費用対効果評価を行う際の比較対照技術は、幅広く臨床現場等で使用されており、当該技術が導入されたときに、最も置き換わりうる想定されるものを原則として今後の検討を行う。

④ データの取り扱い

効果データや費用データの取り扱いについては、下記のような確認・指摘がなされた。

- I. 有効性・安全性等の効果データについては、システマティックレビューに基づき臨床研究の情報を収集し、エビデンスレベルが高くかつ現実の臨床成績を反映しているものを優先的に利用することが重要である。
- II. 一方、エビデンスレベルのみにとらわれることなく、対象集団や診療実態の違い（例えば海外データの場合、医療技術の使用実態のわが国との違い等）等に留意することも重要である。
- III. 費用の算定は、「単価」に「回数」をかけることにより得られる。
- IV. 「単価」としては、公定価格等実際に現場で使用されている価格を用いるのが一般的である。
- V. 「回数」については、「ガイドライン等に示された標準的な診療過程」や「実際の診療を分析したデータ」等に基づき計算することが多いが、いずれにせよ日本国内の診療実態を適切に反映していることが重要である。

【方向性】

効果データについては、幅広に関連する効果データの検索を行う等、網羅性を担保することとする。また、対象集団や診療実態の違い（例えば海外データの場合、医療技術の使用実態のわが国との違い等）等に留意しつつ、原則としてエビデンスレベルが高いデータを優先することとして、今後の検討を行う。

費用データについては、原則として、「単価」は、診療報酬点数表、薬価基準、特定保険医療材料価格基準等を用いることとし、「回数」は、わが国の診療実態を適切に反映していると考えられるデータ（例：「ガイドライン等に示された標準的な診療過程」、「実際の診療を分析したデータ」）を用いることとして今後の検討を行う。

(2) 具体的な評価の活用手法

① -1 費用対効果評価の活用方法について

諸外国における費用対効果評価の取り組みを踏まえ、結果活用方法としては、下記に大別できるとの確認がなされた。

- (ア) 保険償還の可否の判断を行う。
- (イ) 保険償還価格への反映を行う。

また、諸外国において保険償還の可否の判断に使用する際には、患者アクセスを確保するための措置として、「予め定めた使用回数や使用期間までは償還し、上回った部分は、公的医療保険以外(事実上の値引き等)による提供とする」等の対応が行われることがあることが確認された。

また、結果活用方法については、

- I. 我が国の公的医療保険制度のあり方を踏まえると、費用対効果評価の活用方法としては、償還価格への反映の方が適しているのではないか。

という意見があった一方で、

- II. アクセスを確保すること等については慎重に配慮しつつ、対象技術等の状況によっては、保険償還の可否に活用することもあり得るのではないか。

との意見も出された。また、今後は、我が国における具体例を元に結果活用の方法についての検討を行ってもよいのではないかという意見もあった。

①-2 結果活用の時期について

結果活用の時期については、下記の場合に分けて検討がなされた。

- (ア) 保険収載の前後
- (イ) 保険収載後、1～2年を経過した後
- (ウ) 保険収載後、数年経過後

保険収載の前後に結果活用を行う際は、早期に費用対効果評価の結果が反映される一方で、評価に時間を要する場合、保険収載の遅延につながる可能性があることが指摘された。

保険収載後、時間を経てから結果活用を行う際は、蓄積した臨床データや研究結果の活用が可能であることや、評価の時間を確保できるため、保険収載の遅延の懸念はなくなることが指摘された。一方で、費用対効果評価の結果を活用せずに一定期間は償還が行われることをどう考えるかが課題である。

② 結果活用の技術的なあり方の検討について

増分費用効果比(ICER: incremental cost-effectiveness ratio)を用いた分析を行うことについては一定の合意があったが、質調整生存年(QALY)、生存年(LY)等を用いた場合の増分費用効果比の解釈のあり方や目安等について、および、臨床検査値、治癒率、重症度、発生率等を用いた場合の増分費用効果比の解釈の技術的なあり方について、更なる検討が必要であるという意見があった。また、検討に当たっては、質調整生存年(QALY)、生存年(LY)、臨床検査値、治癒率、重症度、発生率等のいずれにも応用可能である点から、ドイツにおいて検討されている効率性フロンティア法も参考になるのではないかという意見があった。

【方向性】

現在の我が国の保険医療制度との整合性や患者アクセスの確保等に留意しつつ、保険償還の可否の判断や保険償還価格の決定に医療技術の費用対効果評価の結果を活用することについて、我が国に当てはめた具体例を用いることも考慮しながら、既存制度との整合性も含めて引き続き検討する。なお、結果活用の技術的なあり方や結果活用の時期についても合わせて検討を行う。

2. 終わりにまとめ

医療分野のイノベーションの進展によって、より高い治療効果等が期待される医療技術が選択できるようになる一方で、高い治療効果等が期待される医療技術の中には費用が大きなものがあるため、これらの増加による医療保険財政への影響についての懸念がある。さらに、費用の大きな医療技術の中には、必ずしも治療効果等が十分に高いとは言えないものがあるという指摘がある。また、費用対効果の評価が医療保険上の評価に必ずしも反映されていないという指摘がある。

これらの課題に対応するため、当部会における上記の整理を踏まえつつ、先行する諸外国における費用対効果評価制度の動向や我が国の保険医療制度との整合性等も十分に勘案しながら、具体例を取り上げた検討等を含め、引き続き、医療技術の保険適用の評価に際し、費用対効果の観点を導入することについて検討を行っていくこととする。

平成 26 年度診療報酬改定に向けた新規医療技術の評価及び 既存技術の再評価に関する検討について（現時点の検討報告）

1 これまでの検討状況

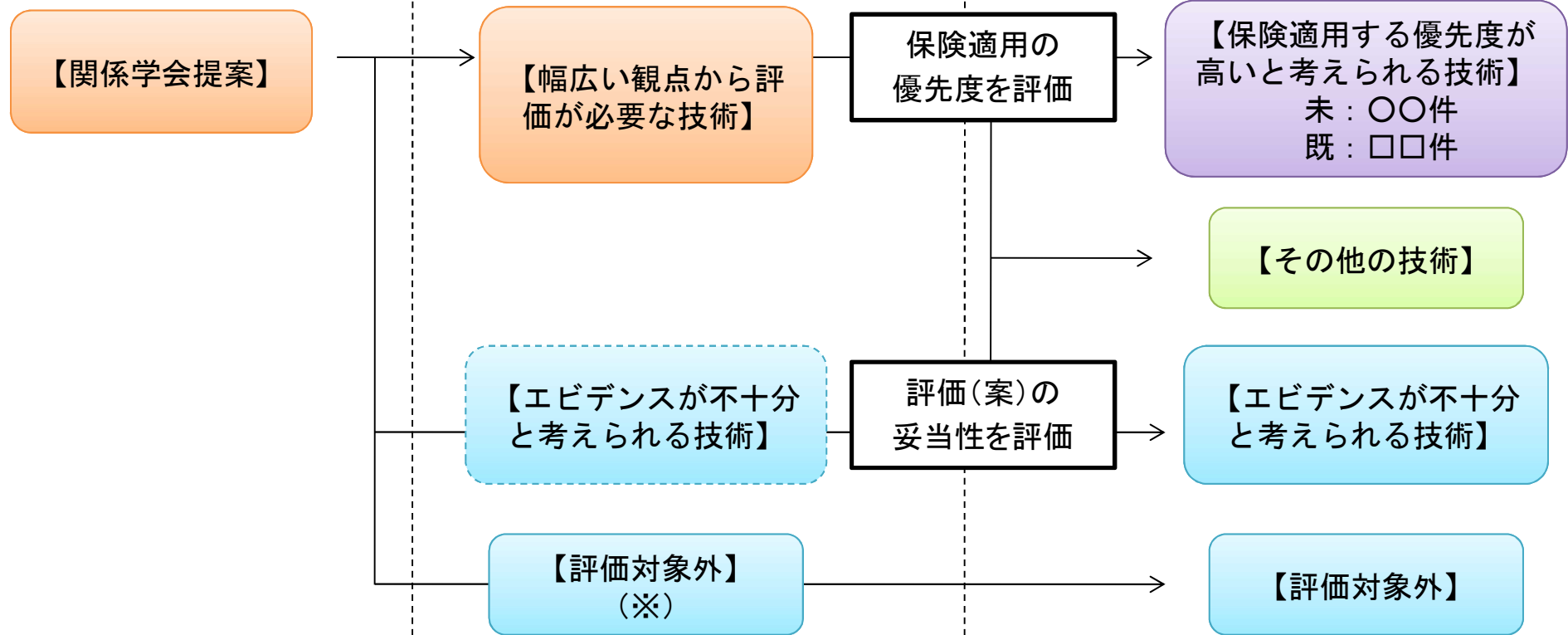
- (1) 平成 26 年度診療報酬改定に向けて、診療報酬における医療技術の適正な評価の観点から、診療報酬調査専門組織医療技術評価分科会において、学会等から提出された医療技術評価・再評価提案書（以下、「提案書」という。）に基づき、新規医療技術の評価及び既存技術の再評価（以下、単に「評価」という。）に関する検討を行うこととされ、本年 3 月から 6 月にかけて、関係学会等から合計 805 件（重複分をカウントすると 863 件）の提案書が厚生労働省に提出された。
- (2) 現在、学会等からのヒアリングや外部有識者の意見を踏まえ、提案書の有効性や安全性等に関する記載をもとに事務局が評価（案）の作成を行っているところ。
- (3) 評価（案）の作成が終了し次第、分科会において、評価（案）及び技術の概要を示し、分野横断的に幅広い観点から評価を行った後に、中央社会保険医療協議会総会（以下、「中医協」という。）へ報告し、議論頂くこととする。

2 具体的なスケジュール

平成 25 年	2 月 2 5 日	・ 分科会（評価方法等について）
	2 月 2 7 日	・ 中医協へ報告
	3 月～6 月	・ 技術評価提案書の提出
	1 1 月 6 日	・ 中医協に検討状況の報告及び提案書一覧の提示
	1 1 月 上旬めど	・ 専門的観点を踏まえ、評価（案）を作成
	1 1 月 中旬	・ 分科会（提案書及び評価（案）を提示）
平成 26 年	1 月	・ 分科会（分科会で評価） ・ 評価結果を中医協に報告し、議論

平成26年度改定・医療技術評価分科会の進め方(案)

	会議の事前作業(事務局において評価案を作成)	医療技術評価分科会における評価
時期(予定)	8月～10月頃	10月以降～(結果を中医協総会へ報告)
評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・評価(案)の作成 ・エビデンスが不十分と考えられる技術について、その理由を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・保険適用の優先度に関する評価及び ・評価(案)の妥当性に関する評価 ・必要に応じ、専門的観点から有識者の助言を得て評価



※ 薬事法上の承認が得られていない医薬品及び医療機器等を用いる技術
先進医療専門家会議において保険導入等について議論する技術 など

平成25年度 医療技術評価提案書 一覧

No	整理番号	提出学会名	技術名
1	201201	日本アフェレシス学会（共同提案：日本小児腎臓病学会）	血漿交換療法（増点について）
2	201202	日本アフェレシス学会	血漿交換療法（算定要件の見直しについて）
3	203101	日本アレルギー学会 （共同提案：日本呼吸器学会、日本小児アレルギー学会）	吸入補助器具（スパーサー）を用いた吸入ステロイド療法指導管理料
4	203102	日本アレルギー学会（共同提案：日本皮膚科学会、日本小児アレルギー学会、日本皮膚アレルギー接触皮膚炎学会）	食物依存性運動誘発アナフィラキシーの診断確定のための誘発負荷試験
5	203103	日本アレルギー学会	シックハウス症候群・化学物質過敏症疾患管理料
6	203104	日本アレルギー学会	I g E値、特異的I g E抗体検査の判断料
7	204201	日本医学放射線学会	画像診断管理加算3の新設と増点
8	208101	日本エイズ学会	HIVジェノタイプ指向性検査
9	209101	(社)日本温泉気候物理医学会	三朝温泉を用いた慢性閉塞性肺疾患への温泉療法
10	209102	(社)日本温泉気候物理医学会	温泉療養指導管理料
11	210101	公益社団法人日本化学療法学会	特定薬剤治療管理料（イトラコナゾール内用液）
12	211101	一般社団法人日本核医学会（共同提案：日本認知症学会、日本神経学会）	ポジトロン断層撮影（アミロイドイメージング）
13	211201	一般社団法人日本核医学会	核医学医診断
14	211202	一般社団法人日本核医学会	ポジトロン断層撮影 3 13N標識アンモニア剤を用いた場合（一連の検査につき）
15	211203	日本核医学会（共同提案：日本薬学会、日本病院薬剤師会）	ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（薬剤師配置）
16	212101	日本環境感染学会	針刺し損傷防止機構付万年筆型注入器用注射針加算
17	213101	一般社団法人日本感染症学会	うがい液を検体とする核酸増幅法を用いた咽頭淋菌感染と咽頭クラミジア・トラコマティス感染の診断
18	213102	一般社団法人日本感染症学会	ニューモシスチス・イロベチイ PCR（定性）
19	213103	一般社団法人日本感染症学会	感染症免疫学的検査 ヒトメタニューモウイルス抗原定性
20	214101	日本肝臓学会	ISDR・IRRDR及びHCV coreアミノ酸変異検査
21	214102	日本肝臓学会	HBV核酸アナログ耐性遺伝子検査
22	214103	日本肝臓学会	カルニチン血中濃度測定検査
23	214104	日本肝臓学会	IL28B 遺伝子多型測定
24	214201	日本肝臓学会	超音波診断装置による肝硬度測定
25	214202	日本肝臓学会	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
26	218101	日本癌治療学会（共同提案：日本婦人科腫瘍学会、日本ハイパーサーミア学会、日本核医学会、日本造血細胞移植学会、日本臨床腫瘍学会）	がん化学療法指導管理料（内服・点滴）
27	218201	日本癌治療学会	悪性骨軟部腫瘍に対する抗癌化学療法の効果増強補助
28	219201	日本急性血液浄化学会（共同提案：日本透析医学会）	持続緩徐式血液濾過
29	220101	日本血液学会（共同提案：日本臨床腫瘍学会）	国際標準法を用いたBCR-ABL mRNAの定量PCR法
30	220102	日本血液学会	血清および尿の免疫固定法(immunofixation electrophoresis: IFE)検査
31	220103	日本血液学会（共同提案：日本臨床腫瘍学会）	ABL遺伝子の変異同定
32	220104	日本血液学会	高感度フローサイトメトリー法によるGPIアンカー膜蛋白欠損（PNH型）血球の検出
33	220105	日本血液学会	末梢血または組織中のHTLV-1 の単クローン性組み込み検査（サザンプロット法）
34	220106	日本血液学会	JAK2遺伝子変異の解析
35	220107	日本血液学会（共同提案：日本造血細胞移植学会）	血中HHV-6-DNA定量検査
36	220108	日本血液学会	尿中アデノウイルス-DNA定量検査
37	220109	日本血液学会	ヒトパルボウイルスB19 DNAの定量PCR法（リアルタイムPCR法）
38	220110	日本血液学会	ADAMTS13活性測定
39	220111	日本血液学会	ADAMTS13インヒビター力価測定
40	220112	日本血液学会	血中トロンボポエチン濃度
41	220113	日本血液学会	von Willebrand因子マルチマー解析
42	220114	日本血液学会	急性白血病の遺伝子検査
43	221101	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	高齢者、認知症、廃用患者等結核管理加算
44	221102	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	結核に関する地域連携診療計画管理料、退院時指導料（Ⅰ）（Ⅱ）
45	221103	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	結核病棟におけるNST加算
46	221104	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	結核感染管理加算
47	221105	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	結核急性期合併症加算
48	221106	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	外来DOTS管理加算1
49	221107	日本結核病学会（共同提案：日本呼吸器学会）	外来DOTS管理加算2
50	221201	日本結核病学会（共同提案：日本感染症学会、日本臨床検査医学会）	抗抗酸菌抗体（抗GPL core IgA抗体）
51	223101	特定非営利活動法人日本高血圧学会	家庭血圧測定・評価
52	223201	特定非営利活動法人日本高血圧学会	尿中アルブミン定量精密測定
53	225101	日本呼吸器学会（共同提案：日本肺癌学会）	免疫組織化学染色、免疫細胞化学染色

No	整理番号	提出学会名	技術名
54	225102	日本呼吸器学会（共同提案：日本アレルギー学会、日本小児アレルギー学会、日本小児呼吸器学会）	気道過敏性検査（メサコリン吸入負荷によるスパイロメータでの1秒量測定）
55	225103	日本呼吸器学会（共同提案：日本肺癌学会）	可溶性メソテリン関連ペプチド(SMRP)の測定
56	225104	日本呼吸器学会（共同提案：日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本摂食嚥下学会、公益社団法人日本栄養士会）	慢性呼吸器疾患（COPDなど）を対象とした栄養食事指導
57	225105	日本呼吸器学会（共同提案：日本結核病学会日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）	呼吸運動装置による排痰誘発法
58	225201	日本呼吸器学会（共同提案：日本リハビリテーション医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本心臓リハビリテーション学会）	時間内歩行試験
59	225202	日本呼吸器学会（共同提案：日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）	在宅酸素療法指導管理料の算定要件変更
60	225203	日本呼吸器学会（共同提案：日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本リハビリテーション医学会、日本心臓リハビリテーション学会）	呼吸器リハビリテーション料
61	225204	日本呼吸器学会（共同提案：日本睡眠学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料
62	225205	日本呼吸器学会（共同提案：日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本呼吸療法医学会、日本心臓リハビリテーション学会）	呼吸ケアチーム加算
63	225206	日本呼吸器学会（共同提案：日本循環器学会、日本肺癌学会）	ニコチン依存症管理料
64	226101	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会（共同提案：日本神経学会、日本神経治療学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本呼吸器学会）	在宅人工呼吸療法（人工呼吸器）保守管理料
65	226102	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会（共同提案：日本小児呼吸器学会、日本小児神経学会）	バッテリー加算
66	226103	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会（共同提案：日本呼吸療法医学会）	ネーザルハイフロー療法（ハイフローセラピー）
67	226201	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	在宅持続陽圧呼吸療法にかかる電子的療養記録客観評価
68	227201	日本呼吸器内視鏡学会（共同提案：日本呼吸器学会）	気管支ファイバースコープ
69	229201	日本骨粗鬆症学会	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ [®] （TRACP-5b）の測定（D008-16）
70	230101	公益社団法人日本産科婦人科学会（共同提案：一般社団法人日本周産期・新生児医学会）	不規則抗体陽性であった妊婦に対する不規則抗体の種類同定・定期的抗体価測定検査の新設
71	230201	公益社団法人日本産科婦人科学会	観血的手術に対するHIV術前検査
72	232201	日本消化管学会	D310 小腸ファイバースコープ 2 カプセル型内視鏡によるもの
73	232202	日本消化管学会	D298-2内視鏡下嚥下機能検査
74	233101	日本消化器病学会（共同提案：日本消化器内視鏡学会、日本ヘリコバクター学会）	血中ペプシノゲンI（PGI）、ペプシノゲンII（PGII）測定による慢性胃炎の診断
75	233102	日本消化器病学会（共同提案：日本消化器内視鏡学会）	ダブルバルーン内視鏡を用いた「腸管を畳み込む」技術による小腸内視鏡検査法
76	234101	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	内視鏡電子画像管理加算
77	234102	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	消化器軟性内視鏡安全管理料
78	234103	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	内視鏡的治療 術中炭酸ガス加算
79	234201	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会、日本肝臓学会）	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
80	235101	（一社）日本小児科医会	小児アレルギー疾患療養指導管理料
81	235201	（一社）日本小児科医会	小児科外来診療料の見直し
82	235202	（一社）日本小児科医会	乳幼児育児栄養指導料の見直し
83	236201	日本小児科学会	A307 小児入院医療管理料4および5 加算の新設
84	236202	日本小児科学会	小児ケアマネージャーの機能を担うコーディネーターの新設(その1)
85	236203	日本小児科学会	小児ケアマネージャーの機能を担うコーディネーターの新設(その2)
86	236204	日本小児科学会	小児ケアマネージャーの機能を担うコーディネーターの新設(その3)
87	236205	日本小児科学会	小児ケアマネージャーの機能を担うコーディネーターの新設(その4)
88	236206	日本小児科学会	C002 在宅時医学総合管理料の算定要件の見直し（看取り数）
89	236207	日本小児科学会	C002 在宅時医学総合管理料の算定要件の見直し（200床）
90	237101	日本小児アレルギー学会	乳幼児喘息吸入ステロイド療法指導管理料
91	238101	日本小児栄養消化器肝臓学会	小児のヘリコバクターピロリ菌の除菌療法
92	238201	小児栄養消化器肝臓学会	小児消化器内視鏡検査
93	239101	日本小児感染症学会（共同提案：日本感染症学会、日本臨床微生物学会）	感染症免疫学的検査 ヒトメタニューモウイルス抗原定性

No	整理番号	提出学会名	技術名
94	239102	日本小児感染症学会	ヘルペスウイルス属DNA定量
95	239103	日本小児感染症学会	IgGサブクラス分画
96	240201	日本小児血液・がん学会	小児悪性腫瘍患者指導管理料の適応拡大
97	242101	日本小児呼吸器学会	パルスオキシメータを用いた小児在宅モニタリング
98	243201	日本小児神経学会(共同提案:日本小児科学会、日本重症心身障害学会)	介護職員等喀痰吸引等指示料
99	243202	日本小児神経学会(共同提案:日本小児科学会、日本小児精神神経学会、日本小児心身医学会)	小児科療養指導料
100	244201	日本小児心身医学会(共同提案:日本小児循環器学会)	ヘッドアップチルト試験
101	245101	日本小児循環器学会	経皮的閉鎖肺動脈弁尖通・拡大
102	245201	特定非営利活動法人日本小児循環器学会	心臓カテーテル検査技術料算定
103	245202	特定非営利活動法人日本小児循環器学会(共同提案:日本超音波医学会)	小児心臓超音波検査技術料算定
104	246201	日本小児腎臓病学会(共同提案:日本腹膜透析医学会)	在宅自己腹膜灌流指導管理料
105	246202	日本小児腎臓病学会(共同提案:日本腹膜透析医学会)	腹膜灌流
106	247101	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児科学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会、日本高次脳機能障害学会)	小学生の読み書きスクリーニング検査(STRAW)
107	247102	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	標準抽象語理解力検査(SCTAW)
108	247103	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	絵画語い発達検査(PVT-R)
109	247104	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度(PARS)
110	247105	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	新生児行動評価(neonatal behavioral assessment scale) N-BAS
111	247106	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	子ども版解離評価表(The child Dissociative Checklist(CDC), Version3.0)
112	247107	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	思春期解離体験尺度A-DES(Adolescent dissociative experiences scale)
113	247108	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	小児の特定不安検査 STAI-C(児童用)
114	247109	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	パルソン児童用抑うつ性尺度(DSRS-C)
115	247110	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	K-A-B-C II(Kaufman Assessment Battery for Children:個別式知能検査 II(改訂))
116	247201	日本小児精神神経学会(共同提案:日本小児学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会)	小児特定疾患カウンセリング料
117	248101	日本小児内分泌学会	血清25水酸化ビタミンD測定(25OHD)
118	248102	日本小児内分泌学会	DNAメチレーション試験
119	248103	日本小児内分泌学会	血清TSBAb(TSHL77抗体[阻害型])測定
120	248104	日本小児内分泌学会	血中ケトン体自己測定器加算
121	250101	日本神経学会(共同提案:日本神経治療学会、日本在宅医学会、日本プライマリーケア学会、日本ケアマネジメント学会、日本緩和医療学会)	在宅難病コーディネーター
122	250102	日本神経学会(共同提案:日本小児神経学会、日本リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会、日本てんかん学会)	医療心理士による神経心理査定料
123	250103	日本神経学会(共同提案:日本てんかん学会、日本小児神経学会、日本臨床神経生理学学会)	デジタル脳波の遠隔診断
124	250201	日本神経学会	神経学的検査
125	250202	日本神経学会(共同提案:日本リハビリテーション学会、日本神経治療学会)	脳血管疾患等リハビリテーション
126	250203	日本神経学会(共同提案:日本臨床神経生理学学会、日本臨床検査医学会)	中枢神経磁気刺激法による誘発筋電図
127	250204	日本神経学会(共同提案:日本神経治療学会、日本呼吸器学会、日本小児科学会、日本小児神経学会)	人工呼吸器加算
128	250205	日本神経学会(共同提案:日本小児神経学会)	排痰補助装置加算
129	250206	日本神経学会(共同提案:日本脳卒中学会、日本神経超音波学会)	経頭蓋ドプラ装置による脳血流速度連続測定
130	250207	日本神経学会(共同提案:日本在宅医学会、日本緩和医療学会)	身障療護訪問診療
131	250208	日本神経学会(共同提案:日本リハビリテーション学会)	難病患者リハビリテーション
132	252101	日本神経治療学会(共同提案:日本神経学会、日本自律神経学会)	シェロング起立試験
133	252201	日本神経治療学会(共同提案:日本神経学会)	在宅神経難病患者連携指導料(在宅患者連携指導料の特化型)

No	整理番号	提出学会名	技術名
134	252202	日本神経治療学会（共同提案：日本神経学会）	経皮的血液ガス分圧測定
135	253101	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会	経皮酸素ガス分圧連続測定（TcpO2—局所の虚血を反映する）
136	254201	日本心身医学会	心身医学療法（外来）
137	255101	日本心臓病学会（共同提案：日本循環器学会、日本心不全学会）	和温療法
138	255201	日本心臓病学会（共同提案：日本心臓リハビリテーション学会、日本循環器学会、日本リハビリテーション学会、日本心不全学会日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、日本心不全学会、日本臨床検査専門医会）	トレッドミルまたはサイクルエルゴメータによる負荷心肺機能検査の増点
139	256201	日本心臓リハビリテーション学会（共同提案：日本循環器学会、日本心臓病学会、日本リハビリテーション医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）	心大血管疾患リハビリテーション料に関わる施設認定基準の見直し
140	257201	日本心電学会	体外ペースメーカー術
141	257202	日本心電学会	埋込型ループ式連続モニター装置移植術
142	257203	日本心電学会	埋込型ループ式連続モニター装置管理
143	257204	日本心電学会	リアルタイム解析型心電図（体外型ループ式連続モニター装置）
144	258101	日本心不全学会（日本リハビリテーション医学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心臓リハビリテーション学会）	心大血管リハビリテーション料に関わる重症心不全加算
145	258201	日本心不全学会（共同提案：日本心臓リハビリテーション学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本リハビリテーション医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会）	トレッドミル/サイクルエルゴメータによる負荷心肺機能検査での連続呼気ガス分析加算の増点
146	260101	日本磁気共鳴医学会（一般社団法人）	MR対応ペースメーカー患者のMR撮像における安全加算
147	260201	日本磁気共鳴医学会	電子画像管理加算2の新設と増点
148	261201	日本児童青年精神医学会	通院・在宅精神療法（16歳未満加算）
149	261202	日本児童青年精神医学会	通院・在宅精神療法（20歳未満加算）
150	261203	日本児童青年精神医学会	精神科デイ・ケア
151	261204	日本児童青年精神医学会	精神科ショート・ケア
152	262101	日本循環器学会（日本心臓病学会、日本心血管インターベンション学会）	冠攣縮性狭心症の診断におけるアセチルコリン、エルゴメトリンを用いた冠攣縮薬物誘発負荷試験
153	262102	日本循環器学会（共同提案：日本脈管学会、日本心臓病学会、日本心不全学会、日本動脈硬化学会）	「E101-2 ポジトロン断層撮影」及び「E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影」
154	262103	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会、日本心電学会、日本不整脈学会、日本冠疾患学会）	院外での12誘導心電図の記録と医療機関の読影料加算
155	262104	日本循環器学会	右心カテーテル留置下の運動負荷試験
156	262105	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会、日本心電学会、日本自律神経学会、日本不整脈学会）	心電図R-R間隔変動係数測定検査
157	262201	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会、日本心血管インターベンション学会）	心臓カテーテル法による付加検査の増点
158	262202	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会、日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本脳低体温療法学会、日本蘇生学会）	低体温療法の器材の診療報酬化
159	262203	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会）	T波オルタナンス（TWA）検査における連続呼気ガス分析加算
160	262204	日本循環器学会（共同提案：日本心臓病学会、日本心電学会、日本不整脈学会）	経皮的カテーテル心筋焼灼術（付加手技を伴う場合）
161	264101	日本自律神経学会（共同提案：日本神経学会、日本神経治療学会）	全身温熱発汗試験
162	264102	日本自律神経学会（共同提案：日本神経学会、日本神経治療学会）	筋交感神経負荷テスト
163	265201	日本腎臓学会（共同提案：日本高血圧学会、日本透析学会、日本小児腎臓学会、日本糖尿病学会、日本内科学会、日本臨床検査医学会）	経皮的腎生検
164	265202	日本腎臓学会（共同提案：日本アフエレンシス学会、日本透析医学会）	自己抗体ANCAによる急速進行性糸球体腎炎に対する血漿交換療法
165	265203	日本腎臓学会（共同提案：日本アフエレンシス学会、日本透析医学会）	抗GBM自己抗体による急速進行性糸球体腎炎に対する血漿交換療法
166	266101	日本人類遺伝学会	MEN1遺伝学的検査
167	266102	日本人類遺伝学会	RET遺伝学的検査
168	267101	日本膵臓学会（共同提案：日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会）	体外式衝撃波隣石破碎療法
169	268101	日本睡眠学会	アクチグラフ
170	268201	日本睡眠学会	認知療法・認知行動療法
171	268202	日本睡眠学会	終夜睡眠ポリグラフィ（PSG）
172	268203	日本睡眠学会	終夜睡眠ポリグラフィ（PSG）
173	270101	日本頭痛学会（日本神経学会、日本神経治療学会）	群発頭痛の在宅酸素療法の適用拡大
174	271101	日本整形外科学会	精密知覚機能検査
175	271201	日本整形外科学会	運動器リハビリテーション料（Ⅰ）と（Ⅱ）
176	271202	日本整形外科学会	運動器リハビリテーションによる廃用症候群の適応拡大

No	整理番号	提出学会名	技術名
177	271203	日本整形外科学会	運動器リハビリテーションのギプス除去時起算
178	272101	日本精神科病院協会	地域連携クリニカルパス加算
179	272102	日本精神科病院協会	精神科安全保護管理加算イ
180	272103	日本精神科病院協会	精神科安全保護管理加算ロ
181	272104	日本精神科病院協会	精神科病棟感染制御管理料
182	272201	日本精神科病院協会	重度認知症患者デイ・ケア科 夜間ケア加算
183	272202	日本精神科病院協会	精神科訪問看護・指導料
184	272203	日本精神科病院協会	入院精神療法(I)
185	272204	日本精神科病院協会	入院精神療法(II)イ
186	272205	日本精神科病院協会	入院精神療法(II)ロ
187	272206	日本精神科病院協会	入院精神療法(20歳未満)
188	272207	日本精神科病院協会	医療保護入院等診療料
189	272208	日本精神科病院協会	精神科デイ・ケア等
190	272209	日本精神科病院協会	入院集団精神療法
191	272210	日本精神科病院協会	通院集団精神療法
192	272211	日本精神科病院協会	入院生活技能訓練療法
193	272212	日本精神科病院協会	精神科退院前訪問指導料
194	272213	日本精神科病院協会	通院・在宅精神療法
195	272214	日本精神科病院協会	通院・在宅精神療法(他科受診)
196	272215	日本精神科病院協会	通院・在宅精神療法の時間外・休日・深夜加算
197	272216	日本精神科病院協会	特定薬剤副作用管理加算
198	272217	日本精神科病院協会	心大血管疾患等・脳血管疾患等・運動器・呼吸器リハビリテーション料
199	273101	日本精神神経学会	うつ病の精査・治療連携管理料、うつ病連携医療加算
200	273102	日本精神神経学会	治療抵抗性統合失調症治療指導管理料増点とクロザピン外来指導管理料加算
201	273103	日本精神神経学会	小臨床心理・神経心理検査
202	273201	日本精神神経学会(共同提案:日本総合病院精神医学会)	A230-3身体合併症加算の7日間の制限の撤廃、対象疾患の拡大と増点
203	273202	日本精神神経学会(共同提案:日本臨床神経生理学学会)	D-236-3脳磁図の対象疾患の適応拡大
204	273206	日本放射線腫瘍学会	経皮的放射線治療用金属マーカー留置術
205	275101	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会(共同提案:日本リハビリテーション医学会、日本神経学会、日本神経治療学会)	間歇的経管栄養法
206	276101	日本先天代謝異常学会(共同提案:日本小児神経学会、日本小児栄養消化器肝臓学会、日本臨床栄養学会)	血清セレン測定(原子吸光法)
207	276102	日本先天代謝異常学会(共同提案:日本小児神経学会)	ニーマンピック病C型の遺伝学的検査
208	277201	日本総合病院精神医学会	精神科リエゾンチーム加算に関する改定要望(点数の増点、週に算定可能な回数増加)
209	277202	日本総合病院精神医学会	精神科リエゾンチーム加算に関する改定要望(施設基準特に看護師要件の改定)
210	277203	日本総合病院精神医学会	精神科救急・合併症入院料の改定
211	277204	日本総合病院精神医学会	栄養サポートチーム加算
212	277205	日本総合病院精神医学会	医師事務作業補助体制加算
213	277206	日本総合病院精神医学会	総合入院体制加算
214	277207	日本総合病院精神医学会	精神科病棟を一般病棟入院基本料に合算可能とすること
215	277208	日本総合病院精神医学会(共同提案:日本精神神経学会)	精神科病棟入院基本料(10対1)の要件(平均在院日数)改定
216	277209	日本総合病院精神医学会(共同提案:日本精神神経学会)	精神科病棟のDPC対象化
217	278101	日本造血細胞移植学会(共同提案:日本血液学会)	末梢血EBV-DNA定量検査
218	278102	日本造血細胞移植学会	非血縁者間造血幹細胞移植加算
219	281101	日本てんかん学会(共同提案:日本臨床神経生理学学会、日本神経学会、日本小児神経学会)	aEEG(amplitude-integrated EEG)による長期脳波記録検査
220	281201	日本てんかん学会(共同提案:日本臨床神経生理学学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会)	長期脳波ビデオ同時記録検査(1日につき)
221	281202	日本てんかん学会(共同提案:日本臨床神経生理学学会)	長期継続頭蓋内脳波検査
222	281203	日本てんかん学会(共同提案:日本神経学会、日本臨床神経生理学学会、日本臨床検査医学会)	脳波検査(過呼吸、光及び音刺激による負荷検査を含む。)
223	282201	日本透析医学会	慢性維持透析濾過(複雑なもの)を行った場合
224	282202	一般社団法人日本透析医学会	人工腎臓
225	283101	一般社団法人日本糖尿病学会	糖尿病循環型病診連携管理料
226	283201	一般社団法人日本糖尿病学会	間歇注入シリンジポンプ加算の算定要件見直し
227	284101	一般社団法人日本東洋医学会	漢方的診察法
228	285101	日本動脈硬化学会(共同提案:日本肥満学会、日本内分泌学会)	内臓脂肪量測定(腹部CT法)

No	整理番号	提出学会名	技術名
229	285102	日本動脈硬化学会	アポ蛋白B-48精密測定 (CLEIA法)
230	285103	日本動脈硬化学会	Small dense LDL (低比重リポ蛋白)
231	287101	日本内分泌学会	内臓脂肪量測定 (腹部CT法)
232	288201	日本乳癌学会 (共同提案: 日本病理学会)	センチネルリンパ節生検
233	289201	一般社団法人日本脳卒中学会	脳CT血管撮影
234	289202	一般社団法人日本脳卒中学会	脳血管疾患等リハビリテーション料
235	289203	一般社団法人日本脳卒中学会	BNP (ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド精密測定)
236	290201	日本ハイパーサーミア学会 (共同提案: 日本放射線腫瘍学会)	電磁波温熱療法
237	290202	日本ハイパーサーミア学会	電磁波温熱療法 (進行・再発・転移癌に対するもの)
238	291101	日本肺癌学会 (共同提案: 日本呼吸器学会)	RT-PCR法によるALK融合遺伝子の検出
239	291201	日本肺癌学会 (共同提案: 日本呼吸器学会)	免疫染色法によるALK融合遺伝子の検出
240	292201	社団法人日本皮膚科学会	リンパ球刺激試験 (LST)
241	292202	社団法人日本皮膚科学会	グロブリンクラス別ウイルス抗体価 ヒトパルボウイルスB19
242	292203	社団法人日本皮膚科学会	ダーモスコピー
243	293101	日本肥満学会 (日本内分泌学会、日本心血管内分泌代謝学会)	内臓脂肪量測定 (デュアルインピーダンス法)
244	297201	(一社) 日本病理学会	病理診断管理加算
245	297202	(一社) 日本病理学会	病理診断料 (組織診断料)
246	297203	(一社) 日本病理学会	病理診断料 (保険医療機関間の連携診断)
247	297204	(一社) 日本病理学会 (共同提案: 日本臨床細胞学会、日本産科婦人科学会)	免疫染色病理組織標本作製
248	297205	(一社) 日本病理学会	術中迅速病理組織標本作製
249	297206	(一社) 日本病理学会	テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
250	301201	日本医学放射線学会 (共同提案: 日本核医学会)	電子画像管理加算2の新設と増点
251	301202	日本医学放射線学会	大腸CTの算定要件の見直し
252	301203	日本医学放射線学会	コンピューター断層撮影 (CT) 撮影料の増点
253	302101	日本胃癌学会 (共同提案: 日本内視鏡外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会)	胃局所切除術 (腹腔鏡下、内視鏡併用)
254	304101	日本移植学会	採取部分肝の血管形成
255	304102	日本移植学会	腹腔鏡下移植用部分肝採取術 (生体) (左葉切除)
256	304103	日本移植学会	腹腔鏡下移植用部分肝採取術 (生体) (外側区域切除)
257	304104	日本移植学会	腎移植における複数動脈形成術・静脈形成術
258	304201	日本移植学会	特定薬剤治療管理料
259	304202	日本移植学会 (共同提案: 日本呼吸器外科学会)	死体肺移植術 (本体手術) (補助循環を伴わない)
260	304203	日本移植学会 (共同提案: 日本呼吸器外科学会)	生体肺部分移植術
261	305101	日本IVR学会	BRT0術 (バルーン閉塞下静脈瘤塞栓術)
262	305102	日本インターベンショナルラジオロジー学会	副腎静脈サンプリング
263	305103	日本IVR学会	血管奇形の硬化療法
264	305201	日本IVR学会	選択的肝細胞癌化学塞栓療法
265	306101	日本運動器科学会	運動器不安定症グループリハビリテーション
266	306102	日本運動器科学会	運動器疾患運動処方料
267	306103	日本運動器科学会	小児スポーツ障害指導料
268	306104	日本運動器科学会 (共同提案: 日本臨床整形外科学会)	運動器不安定症管理料
269	306105	日本運動器科学会	運動器リハビリテーション総合計画評価料
270	306106	日本運動器科学会	運動器リハビリテーションカンファレンス
271	306107	日本運動器科学会	運動器リハビリテーション処方料
272	306201	日本運動器科学会 (共同提案: 日本整形外科勤務医会)	運動器リハビリテーション料の再評価
273	306202	日本運動器科学会	入院外早期リハビリテーション加算
274	306203	日本運動器科学会	リハ前物理療法加算
275	306204	日本運動器科学会	運動器リハビリテーションの起算日の変更
276	306205	日本運動器科学会	運動器リハビリテーションに廃用症候群の適応拡大
277	307101	一般社団法人日本核医学会 (共同提案: 日本医学放射線学会)	放射性医薬品安全管理加算
278	307201	一般社団法人日本核医学会 (共同提案: 日本循環器学会)	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影 2 18FDGを用いた場合 (一連の検査につき)
279	307202	一般社団法人日本核医学会	ポジトロン断層撮影 2 18FDGを用いた場合 (一連の検査につき)
280	308101	日本角膜学会	マイボーム腺機能検査
281	308201	日本角膜学会 (共同提案: 日本眼科学会)	精密涙液検査 (現在、涙液分泌機能検査と呼称されている)
282	308202	日本角膜学会 (共同提案: 日本白内障屈折矯正手術学会)	エキシマレーザーによる治療的角膜切除術
283	310201	日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)	関節鏡下自家骨軟骨移植術
284	311101	日本肝胆膵外科学会 (共同提案: 日本外科学会、日本消化器外科学会)	腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術
285	311201	日本肝胆膵外科学会	腹腔鏡下脾臓摘出術
286	311202	日本肝胆膵外科学会	腹腔鏡下胆嚢摘出術
287	311203	日本肝胆膵外科学会 (共同提案: 日本外科学会、日本内視鏡外科学会)	肝切除、胃空腸吻合・総胆管胃 (腸)・膵嚢胞胃 (腸)・膵管空腸吻合術への自動縫合器加算

No	整理番号	提出学会名	技術名
288	312101	日本眼科医会	前眼部三次元画像解析
289	312102	日本眼科医会(共同提案:日本緑内障学会)	緑内障術後管理加算
290	312103	日本眼科医会	眼底カメラ撮影 アナログ/デジタル撮影
291	312104	日本眼科医会	電子画像精度管理料
292	312201	日本眼科医会	眼鏡処方箋発行加算
293	313101	日本眼科学会	精密視力検査
294	313102	日本眼科学会	涙道内視鏡検査
295	313103	日本眼科学会	局所黄斑網膜電図
296	313104	日本眼科学会	精密全視野網膜電図
297	313201	日本眼科学会	コンタクトレンズ検査料
298	313202	日本眼科学会	屈折検査
299	313203	日本眼科学会(共同提案:日本角膜学会)	角膜内皮細胞顕微鏡検査
300	313204	日本眼科学会	ロービジョン検査判断料
301	316101	日本緩和医療学会	在宅緩和ケア受入連携加算
302	316102	日本緩和医療学会	緩和ケア地域連携加算
303	316103	日本緩和医療学会	がん患者早期緩和ケア診療加算
304	316201	日本緩和医療学会	がん患者リハビリテーション料
305	319101	日本形成外科学会(共同提案:日本乳癌学会)	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
306	319102	日本形成外科学会(共同提案:日本乳癌学会、日本外科学会、日本臨床外科学会)	乳房皮膚延長術
307	319103	日本形成外科学会	乳房再建術(遊離皮弁によるもの)
308	319104	日本形成外科学会	局所陰圧閉鎖処置(外来使用型によるもの)
309	319105	日本形成外科学会	ICGによる赤外線蛍光リンパ管・リンパ節造影
310	319106	日本形成外科学会	陰茎再建術(尿道再建を伴うもの)
311	319107	日本形成外科学会	乳房縮小術
312	319201	日本形成外科学会	画像等手術支援加算 実物大臓器立体モデルによるもの
313	319202	日本形成外科学会	画像等手術支援加算 1.ナビゲーションによるもの
314	319203	日本形成外科学会	創外固定器加算
315	319204	日本形成外科学会	組織拡張器による再建手術(一連につき)
316	319205	日本形成外科学会	乳房再建術(乳房切除後)
317	320201	日本血管外科学会	腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術に際する付加手術時(ﾊﾞｲﾊﾟｽ術、ｺｲﾙ塞栓術)の加算
318	320202	日本血管外科学会	胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術(TEVAR)に際する付加手術時(ﾊﾞｲﾊﾟｽ術、ｺｲﾙ塞栓術)の加算
319	320203	日本血管外科学会	腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術分枝(腎動脈、腸骨動脈)再建
320	320204	日本血管外科学会	胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術(TEVAR)分枝(腕頭、頸動脈、鎖骨窩動脈)再建
321	322101	一般社団法人日本外科学会	腹腔鏡手術の一括採用
322	322201	一般社団法人日本外科学会	手術通則14の改正
323	325101	日本高気圧環境・潜水医学会	高気圧酸素治療の救急的適応と非救急的適応の撤廃
324	326101	日本口腔科学会	腐骨除去手術(表在性のもの)
325	326102	日本口腔科学会	腐骨除去手術(深在性のもの)
326	326103	日本口腔科学会	腐骨除去手術(関節頭をふくむもの)
327	326104	日本口腔科学会	唾液分泌量検査
328	327101	日本呼吸器外科学会	胸膜肺全摘術
329	327102	日本呼吸器外科学会(日本臨床外科学会)	拡大胸腺摘除術(開胸)(重症筋無力症に対する)
330	327103	日本呼吸器外科学会	拡大胸腺摘除術(胸腔鏡下)(重症筋無力症に対する)
331	327104	日本呼吸器外科学会	縦隔悪性腫瘍手術(胸腔鏡下)
332	327201	日本呼吸器外科学会	縦隔切開術(経胸腔)
333	327202	日本呼吸器外科学会	画像等手術支援加算 ナビゲーションによるもの
334	327203	日本呼吸器外科学会	移植用肺採取術(死体)(両側)
335	327204	日本呼吸器外科学会	移植用肺採取術(生体)
336	328101	日本呼吸器内視鏡学会	狭帯域光強調気管支鏡検査
337	328102	日本呼吸器内視鏡学会	自家蛍光観察気管支鏡
338	328103	日本呼吸器内視鏡学会	仮想気管支鏡によるナビゲーションシステム
339	328104	日本呼吸器内視鏡学会	EWSなど固形充填材を用いた気管支充填術
340	329101	日本骨折治療学会	関節鏡下関節授動術
341	329102	日本骨折治療学会	コンピューター支援骨形態制御手術
342	330101	公益社団法人日本産科婦人科学会(共同提案:日本生殖医学会・日本産科婦人科内視鏡学会・日本産婦人科医学会・日本産婦人科手術学会・日本婦人科腫瘍学会)	胎児MRI
343	330102	公益社団法人日本産科婦人科学会(共同提案:日本生殖医学会・日本産科婦人科内視鏡学会・日本産婦人科医学会・日本産婦人科手術学会・日本婦人科腫瘍学会)	胎児骨診断CT
344	331101	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会(共同提案:日本産科婦人科医学会、日本生殖医学会、日本産婦人科医学会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術

No	整理番号	提出学会名	技術名
345	331102	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本生殖医学会、日本産婦人科医会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会）	腔断端挙上術（腹腔鏡下）
346	331201	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科医会、日本生殖医学会、日本産婦人科手術学会）	腹腔鏡下子宮内膜症病巣除去術と子宮付属器癒着剥離術の複数手術特例拡大
347	331202	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本生殖医学会、日本産婦人科医会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会）	腹腔内視鏡検査（子宮・付属器）
348	331203	一般社団法人日本産科婦人科内視鏡学会（共同提案：日本産科婦人科学会・日本婦人科腫瘍学会・日本産科婦人科医会・日本生殖医学会・日本産婦人科手術学会）	子宮ファイバースコープ
349	332201	日本産婦人科医会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本生殖医学会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会）	流産手術 妊娠11週までの場合
350	332202	日本産婦人科医会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本生殖医学会、日本産婦人科手術学会）	リングペッサリー（子宮脱用）
351	334101	一般社団法人日本磁気共鳴医学会（共同提案：日本乳癌学会）	先進画像加算：乳腺悪性腫瘍術前MR
352	334102	一般社団法人日本磁気共鳴医学会（共同提案：日本医学放射線学会）	先進画像加算：脳梗塞超急性期における緊急MR加算
353	334201	一般社団法人日本磁気共鳴医学会	磁気共鳴コンピューター断層撮影（MR）撮影料の増点
354	335101	日本自己血輸血学会（共同提案：日本心臓血管外科学会）	貯血式自己血輸血管理料
355	335102	日本自己血輸血学会（共同提案：日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会）	自己フィブリン糊作成術
356	335103	日本自己血輸血学会（共同提案：日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会）	希釈式自己血輸血（採血を含む）（全血200mlごとに）
357	335201	日本自己血輸血学会（共同提案：日本心臓血管外科学会・日本胸部外科学会）	術中術後自己血回収術（自己血回収器具によるもの）
358	336101	日本耳鼻咽喉科学会	内視鏡下鼻・副鼻腔手術
359	336102	日本耳鼻咽喉科学会	中等度難聴指導管理料
360	336103	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	音響鼻腔計測法
361	336104	日本耳鼻咽喉科学会	慢性めまい指導管理料
362	336105	日本耳鼻咽喉科学会	経外耳道耳内視鏡下鼓室形成術 1. 鼓膜形成術、2. 鼓室形成術（上鼓室開放なし）、3. 鼓室形成術（上鼓室開放あり）、4. 鼓室形成術（上鼓室乳突洞開放あり）
363	336106	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	唾液腺内視鏡下唾石摘出術
364	336201	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	術後性上顎洞嚢胞摘出術におけるナビゲーション
365	336202	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	内耳機能検査
366	336203	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	遊戯聴力検査
367	337101	日本弱視斜視学会	斜視手術（調節系法）
368	337201	日本弱視斜視学会	眼科学的検査料（知的障害児（者）に行われた場合の評価）
369	338101	日本周産期・新生児医学会	末梢留置型経皮中心静脈注射用カテーテル挿入-3（体重1,500g以上2,500g未満）
370	338102	日本周産期・新生児医学会	末梢留置型経皮中心静脈注射用カテーテル挿入-3（体重1,000g以上1,500g未満）
371	338103	日本周産期・新生児医学会	末梢留置型経皮中心静脈注射用カテーテル挿入-3（体重1,000g未満）
372	338104	日本周産期・新生児医学会	末梢留置型経皮中心静脈注射用カテーテル挿入-3（体重2,500g以上）
373	339201	日本集中治療医学会	特定集中治療室管理料
374	339202	日本集中治療医学会	人工呼吸 5時間を超えた場合（1日につき）
375	339203	日本集中治療医学会	小児特定集中治療室管理料
376	339204	日本集中治療医学会	一酸化窒素吸入療法
377	341101	日本消化管学会	13C呼吸試験法胃排出能検査
378	341102	日本消化管学会（共同提案：日本消化器外科学会）	空腸嚢移植術（胃切除術における）
379	342101	日本消化器外科学会	肥満患者に対する消化器外科手術
380	342102	日本消化器外科学会	腹腔鏡下噴門側胃切除術
381	342201	日本消化器外科学会（共同提案：日本外科学会）	腹腔鏡下ヘルニア手術 1. 腹壁癒着ヘルニア
382	342202	日本消化器外科学会	超低位直腸前方切除術（カバーリング）
383	342203	日本消化器外科学会	巨脾に対する腹腔鏡下脾摘出術（門脈圧亢進症を伴うもの）
384	343201	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
385	343202	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	内視鏡治療時の鎮静管理料

No	整理番号	提出学会名	技術名
386	343203	日本消化器内視鏡学会（共同提案：日本消化器病学会）	超音波内視鏡下穿刺吸引生検法（EUS-FNA）
387	344101	日本消化器病学会（共同提案：日本消化器内視鏡学会）	十二指腸乳頭切除術
388	344201	日本消化器病学会（共同提案：日本消化器内視鏡学会）	内視鏡下胆管膵管処置におけるバルーン内視鏡加算
389	345101	日本小児外科学会（共同提案：日本外科学会、日本周産期・新生児医学会）	処置における小児加算の新設
390	345102	日本小児外科学会（共同提案：日本外科学会）	EDチューブ挿入固定
391	345103	日本小児外科学会	腹腔鏡手術の一括採用
392	345104	日本小児外科学会	経皮的卵巣嚢腫内容排除
393	345105	日本小児外科学会	臍ヘルニアの圧迫療法
394	345106	日本小児外科学会	短期滞在手術基本料（日帰りの場合、小児全身麻酔の場合）
395	345107	日本小児外科学会	先天性食道閉鎖根治手術（胸腔鏡下）
396	345201	日本小児外科学会	小児科療養指導料の算定疾患の拡大
397	345202	日本小児外科学会	胃・食道内24時間pH測定
398	345203	日本小児外科学会	手術通則14の改正
399	345204	日本小児外科学会	組織試験採取、切採法 直腸
400	346101	日本小児泌尿器科学会	尿水力学的検査：膀胱内圧（小児）
401	346102	日本小児泌尿器科学会	在宅アラーム治療指導管理料
402	346103	日本小児泌尿器科学会	尿管形成術
403	346201	日本小児泌尿器科学会	小児科療養指導料の算定疾患の拡大
404	346202	日本小児泌尿器科学会	手術通則14の改正
405	346203	日本小児泌尿器科学会	尿道下裂形成術
406	347101	日本静脈学会	慢性静脈不全に対する圧迫療法管理料
407	347102	日本静脈学会（共同提案：日本緩和医療学会、日本脈管学会）	リンパ浮腫に対する複合的理学療法
408	347103	日本静脈学会	空気容積脈波法
409	347201	日本静脈学会	四肢血管拡張術および血栓除去術
410	347202	日本静脈学会	静脈形成術、吻合術（指の静脈）
411	348101	日本静脈経腸栄養学会	摂食嚥下障害回復支援食加算Ⅰ
412	348102	日本静脈経腸栄養学会	摂食嚥下障害回復支援食加算Ⅱ
413	348103	日本静脈経腸栄養学会	栄養サポートチーム（NST）加算
414	349101	日本食道学会（共同提案：日本消化器外科学会、日本胸部外科学会）	胸腔鏡下食道悪性腫瘍切除術
415	349102	日本食道学会（共同提案：日本胸部外科学会）	非開胸食道抜去術（消化管再建を伴う）
416	349103	日本食道学会	食道内多チャンネルインピーダンス・pH測定検査
417	349104	日本食道学会	高分解能食道運動機能検査
418	349201	日本食道学会	食道ステント留置術（経管腔食道形成術）
419	349202	日本食道学会	胸腔鏡下食道憩室切除術
420	350101	日本褥瘡学会	褥瘡ハイリスク患者手術時褥瘡予防体制整備加算
421	350201	日本褥瘡学会（共同提案：日本形成外科学会）	理学診療用器具を用いた外科的デブリードマン
422	351101	日本人工臓器学会	周術期血糖管理（人工膵臓を用いたもの）
423	351201	日本人工臓器学会	人工膵臓
424	351202	日本人工臓器学会	人工膵臓
425	352201	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会（共同提案：日本循環器学会）	経皮的冠動脈ステント留置術
426	352202	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会（共同提案：日本循環器学会）	経皮的冠動脈形成術（高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーターによるもの）
427	352203	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会	経皮的冠動脈形成術
428	352204	一般社団法人日本心血管インターベンション治療学会	経皮的冠動脈形成術（エキシマレーザー血管形成用カテーターによるもの）
429	353101	日本心臓血管外科学会（共同提案：日本胸部外科学会）	小児・先天性心臓手術にける同一部位の入れ替え再手術
430	353102	日本心臓血管外科学会（共同提案：日本外科学会、日本胸部外科学会）	冠動脈、大動脈バイパス移植術再手術
431	353103	日本心臓血管外科学会	破裂性腹部大動脈瘤に対する手術
432	353104	日本心臓血管外科学会（共同提案：日本胸部外科学会）	術中ICGイメージング
433	353201	日本心臓血管外科学会（共同提案：日本外科学会、日本胸部外科学会）	総肺静脈還流異常症手術
434	354101	日本心臓血管麻酔学会	人工心肺後、凝固能評価加算
435	355101	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	尿失禁に対する骨盤底筋訓練指導
436	355102	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	在宅排尿指導管理料
437	355103	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	尿路ストーマ・消化器ストーマ造設術前指導料
438	355104	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	経ストーマ洗腸指導管理料
439	355201	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会（共同提案：日本小児外科学会）	ストーマ処置料
440	355202	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	高位洗腸、高圧洗腸、洗腸

No	整理番号	提出学会名	技術名
441	355203	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	在宅患者訪問看護・指導料 4. ストーマケアに係る専門の研修を受けた看護師による場合
442	355204	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	尿路ストーマカテーテル交換法
443	356101	日本整形外科学会	四肢・軀幹悪性軟部腫瘍手術 同一術野での複数術式加算
444	356102	日本整形外科学会（共同提案：日本整形外科勤務医学会）	骨折観血手術の透視下加算（四肢髓内釘）
445	356103	日本整形外科学会（共同提案：日本脊椎脊髄病学会）	分層自家骨髄血移植
446	356104	日本整形外科学会	再診時、他院で撮影したMRI、CTの読影料
447	356201	日本整形外科学会（共同提案：日本骨折治療学会）	肘関節内骨折における手術料
448	356202	日本整形外科学会（共同提案：日本骨折治療学会）	観血的関節固定術（創外固定加算）
449	356203	日本整形外科学会（共同提案：日本整形外科勤務医学会）	骨折非観血的整復術
450	356204	日本整形外科学会	消炎鎮痛処置複数部位加算
451	357101	日本整形外科勤務医学会（共同提案：日本整形外科学会）	手術通則14 留意事項（4）指に係る同一手術野の範囲アのaに骨切り術を追加する
452	358201	日本整形外科スポーツ医学会	体外衝撃波疼痛治療術
453	359101	一般社団法人日本生殖医学会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本産婦人科医学会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会）	レボノルゲストレル放出型子宮内システム療法（挿入）
454	359102	一般社団法人日本生殖医学会（共同提案：日本産科婦人科学会、日本産科婦人科内視鏡学会、日本産婦人科医学会、日本産婦人科手術学会、日本婦人科腫瘍学会）	レボノルゲストレル放出型子宮内システム療法（抜去）
455	360101	日本脊髄障害医学会	ITB（髄腔内パクロフェン持続注入）療法管理料
456	360102	日本脊髄障害医学会	排尿筋圧測定
457	361101	日本脊椎脊髄病学会（共同提案：日本整形外科学会）	内視鏡下椎弓形成術
458	361102	日本脊椎脊髄病学会（共同提案：日本整形外科学会）	経皮的内視鏡下椎間板摘出術
459	363101	日本大腸肛門病学会（共同提案：日本外科学会）	直腸肛門機能訓練
460	363102	日本大腸肛門病学会	膿皮症根治手術（複雑）
461	363103	日本大腸肛門病学会	膿皮症根治手術（簡単）
462	363201	日本大腸肛門病学会（共同提案：日本内視鏡外科学会）	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
463	363202	日本大腸肛門病学会	全結腸・直腸切除嚢肛門吻合
464	363203	日本大腸肛門病学会	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術
465	363204	日本大腸肛門病学会	結腸切除術 結腸半側切除
466	363205	日本大腸肛門病学会	手術通則14の改正
467	364201	日本超音波医学会	超音波造影加算
468	365101	日本手外科学会（共同提案：日本整形外科学会）	靭帯性腱鞘内注射
469	365102	日本手外科学会	エコー下靭帯性腱鞘内注射
470	365103	日本手外科学会	知覚再教育
471	365104	日本手外科学会	精密知覚機能検査
472	365105	日本手外科学会（共同提案：日本ペインクリニック学会）	掌・背側指趾神経ブロック
473	365106	日本手外科学会（共同提案：日本ペインクリニック学会）	骨折部傍骨膜神経ブロック
474	365201	日本手外科学会	手術の通則14の留意事項(4)指に係る同一手術野の範囲アの(ハ)
475	367101	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下尿管切石術
476	367102	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下ストーマ造設術
477	367201	日本内視鏡外科学会	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍切除術
478	367202	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
479	367203	日本内視鏡外科学会	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
480	368201	日本内分泌外科学会	脊髄誘発電位測定等加算
481	369101	日本乳癌学会	乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの）
482	369102	日本乳癌学会	乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）
483	369103	日本乳癌学会（共同提案：日本超音波医学会）	超音波エラストグラフィ
484	369104	日本乳癌学会	トモシンセシス乳房撮影
485	369105	日本乳癌学会	人工乳房抜去術
486	369106	日本乳癌学会	MRIガイド下乳腺腫瘍吸引術（一連につき）
487	369201	日本乳癌学会	乳房精査撮影（両側撮影+拡大スポット撮影）
488	371101	一般社団法人日本脳神経外科学会（共同提案：日本脳卒中学会）	内視鏡下脳内血腫除去術
489	371102	一般社団法人日本脳神経外科学会（共同提案：日本脳卒中学会、日本脳神経血管内治療学会）	経皮的脳血管内血栓回収術
490	371103	一般社団法人日本脳神経外科学会	定位脳腫瘍生検術
491	371104	日本脳神経外科学会（共同提案：日本脳卒中学会）	頸動脈閉塞試験（マタス試験） 血管内バルーン閉塞法
492	371105	一般社団法人日本脳神経外科学会	脊髄空洞症に対する空洞一くも膜下腔交通術（短絡術）<S-Sシャント>
493	371106	一般社団法人日本脳神経外科学会	脳腫瘍覚醒下マッピング
494	371201	一般社団法人日本脳神経外科学会（共同提案：日本臨床神経生理学学会）	疼痛除去用脊髄刺激装置植込み術（刺激電極を2本留置した場合の点数増額）

No	整理番号	提出学会名	技術名
495	371202	一般社団法人日本脳神経外科学会(共同提案:日本脳卒中学会)	脳動脈瘤手術(バイパス術併用)
496	371203	日本脳神経外科学会	脳脊髄用埋め込み型輸液ポンプ薬剤再充填術
497	371204	一般社団法人日本脳神経外科学会(共同提案:日本脳卒中学会)	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
498	371205	一般社団法人日本脳神経外科学会	頭蓋内微小血管減圧術(K160-2)時の脊髄誘発電位測定等加算
499	372101	日本脳神経血管内治療学会	経皮的ステント留置術・頭蓋内動脈
500	374101	日本排尿機能学会	腹腔鏡下膀胱脱手術
501	375101	日本白内障屈折矯正手術学会(JSCRS)	水晶体再建術(特殊眼内レンズを挿入する場合)
502	375201	日本白内障屈折矯正手術学会(JSCRS)	水晶体再建術
503	376101	日本泌尿器科学会	電解質溶液利用経尿道的前立腺切除術
504	376102	日本泌尿器科学会	電解質溶液利用経尿道的前立腺核出術
505	377101	日本泌尿器内視鏡学会	腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清術
506	377102	日本泌尿器内視鏡学会(共同提案:日本内視鏡外科学会)	腹腔鏡下副腎腫瘍切除術 髓質腫瘍(褐色細胞腫)
507	377103	日本泌尿器内視鏡学会(共同提案:日本内視鏡外科学会)	腹腔鏡下尿管管切除術
508	377104	日本泌尿器内視鏡学会	腹腔鏡下膀胱部分切除術
509	377105	日本泌尿器内視鏡学会	腹腔鏡下尿管管悪性腫瘍手術
510	377106	日本泌尿器内視鏡学会	腹腔鏡下腎孟切石術
511	377201	日本泌尿器内視鏡学会	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
512	378101	日本皮膚科学会	皮膚病像撮影料
513	378201	日本皮膚科学会	爪甲除去(麻酔を要しないもの)
514	378202	日本皮膚科学会	鶏眼、胼胝処置
515	378203	日本皮膚科学会	皮膚科光線療法(2)長波長紫外線又は中波長紫外線療法
516	378204	日本皮膚科学会	皮膚科軟膏処置
517	380201	日本病院脳神経外科学会	画像診断管理加算の施設基準 加算1および2の見直し
518	380202	日本病院脳神経外科学会	冠動脈CT撮影加算及び心臓MRI加算の施設基準見直し
519	380203	日本病院脳神経外科学会	脊髄誘発電位測定等加算の適応拡大
520	381101	日本腹部救急医学会(共同提案:日本救急医学会、日本肝胆膵外科学会)	酵素阻害薬・抗菌薬静注持続動注療法
521	381102	日本腹部救急医学会(共同提案:日本救急医学会)	大腸軸捻転症解除術(内視鏡による)
522	381103	日本腹部救急医学会(共同提案:日本救急医学会)	内視鏡的穿孔瘻孔閉鎖術
523	383101	日本不整脈学会	経皮的レーザーシース不使用植え込みデバイスリード抜去術
524	383201	日本不整脈学会(共同提案:日本循環器学会)	ベースメーカー移植術(経静脈電極)
525	383202	日本不整脈学会(共同提案:日本循環器学会)	両室ペーシング機能付き植え込み型除細動器移植術
526	383203	日本不整脈学会	両室ペーシング機能付き植え込み型除細動器(CRTD)交換術
527	383204	日本不整脈学会	経静脈電極抜去術(レーザーシース使用)
528	384101	日本ペインクリニック学会	内視鏡によらない硬膜外神経剥離術(減圧神経整形術)
529	384201	日本ペインクリニック学会	透視下加算(X線透視下・CT下・エコー下等)
530	385101	日本ヘルニア学会	鼠径ヘルニア人工物置換術
531	385102	日本ヘルニア学会	巨大腹壁癒痕ヘルニア根治術
532	385201	日本ヘルニア学会	鼠径ヘルニア手術への短期滞在手術基本料2の適応
533	386101	公益社団法人日本麻酔科学会	(体制が整った施設での)帝王切開の麻酔
534	386102	公益社団法人日本麻酔科学会	臓器移植麻酔加算の新規追加(生体肝移植、生体肺移植、同種小腸移植)
535	386103	公益社団法人日本麻酔科学会	全身麻酔とエコーガイド下で行われる神経ブロックの併用
536	386104	公益社団法人日本麻酔科学会(共同提案:日本外科学会、日本小児外科学会、日本循環器学会)	深鎮静(専従医師、1時間以内)
537	386105	公益社団法人日本麻酔科学会(共同提案:日本外科学会、日本小児外科学会、日本循環器学会)	深鎮静(専従医師、1-2時間)
538	386106	公益社団法人日本麻酔科学会(共同提案:日本外科学会、日本小児外科学会、日本循環器学会)	深鎮静(専従医師、2時間以上)
539	386107	公益社団法人日本麻酔科学会(共同提案:日本外科学会、日本小児外科学会、日本循環器学会)	深鎮静(専従医師以外、1-2時間)
540	386108	公益社団法人日本麻酔科学会(共同提案:日本外科学会、日本小児外科学会、日本循環器学会)	深鎮静(専従医師以外、2時間以上)
541	386201	公益社団法人日本麻酔科学会	麻酔時間加算L800注の改定
542	386202	公益社団法人日本麻酔科学会	気管挿管困難例(補助のデバイスを用いた場合)
543	386203	公益社団法人日本麻酔科学会	マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔 大量出血の麻酔
544	386204	公益社団法人日本麻酔科学会	硬膜外麻酔及び全身麻酔後における鎮痛法
545	386205	日本麻酔科学会	硬膜外麻酔
546	386206	公益社団法人日本麻酔科学会	脊椎麻酔
547	387101	日本網膜硝子体学会(共同提案:日本眼科学会)	網膜再建術
548	387102	日本網膜硝子体学会	眼底直視下微小視野検査(片側)
549	389101	日本リウマチ学会(共同提案:日本臨床整形外科学会)	関節リウマチ等生物学的製剤注射
550	390101	日本リハビリテーション医学会	手指巧緻性機能検査
551	390102	日本リハビリテーション医学会	リハビリテーションカンファレンス

No	整理番号	提出学会名	技術名
552	390103	日本リハビリテーション医学会	コンピュータによる筋力検査
553	390201	日本リハビリテーション医学会	間歇的導尿（1日につき）
554	391101	日本緑内障学会	緑内障インプラント手術（プレートの無いもの）
555	391102	日本緑内障学会	緑内障インプラント手術（プレートのあるもの）
556	391103	日本緑内障学会	前房水漏出検査
557	391104	日本緑内障学会	角膜中央厚測定
558	391105	日本緑内障学会	眼圧日内変動検査
559	391201	日本緑内障学会	緑内障インプラント手術
560	392101	日本臨床外科学会	複数手術（直腸切除＋右大腸切除の新設）
561	392201	日本臨床外科学会	超音波凝固切開装置の適応拡大（改正）
562	392202	日本臨床外科学会	創傷処置
563	392203	日本臨床外科学会	イレウス用ロングチューブ挿入法
564	392204	日本臨床外科学会	乳腺穿刺細胞診の左右別々算定
565	392205	日本臨床外科学会	ラジオ波、マイクロ波の経路別算定（改正）
566	393201	日本臨床神経生理学会	脊髄誘発電位測定等加算の増点
567	394101	日本臨床整形外科学会	脱臼骨折整復時のイメージ加算
568	394102	日本臨床整形外科学会	ギプス包帯管理加算
569	394103	日本臨床整形外科学会	関節液検査診断料
570	394104	日本臨床整形外科学会	運動器物理療法料
571	394105	日本臨床整形外科学会	小関節テーピング（絆創膏固定術）
572	394106	日本臨床整形外科学会	骨折部の骨膜下麻酔
573	394201	日本臨床整形外科学会（共同提案：日本整形外科勤務医会）	四肢レントゲン撮影料の再評価
574	394202	日本臨床整形外科学会（共同提案：日本整形外科勤務医会）	超音波骨折治療法の適応拡大
575	394203	日本臨床整形外科学会	神経ブロックとトリガーポイント注射との部位別算定可
576	394204	日本臨床整形外科学会	介達牽引と消炎鎮痛等処置同時算定
577	395101	日本レーザー医学会	悪性脳腫瘍光線力学的治療
578	395102	日本レーザー医学会	食道悪性腫瘍レーザー焼灼術
579	395201	日本レーザー医学会	光線力学療法
580	395202	日本レーザー医学会	低出力レーザー照射
581	401201	日本外傷歯学会	転位歯・非機能歯の移植
582	402101	一般社団法人日本顎関節学会	顎関節症指導管理料
583	402102	一般社団法人日本顎関節学会	顎運動域簡易検査
584	402103	一般社団法人日本顎関節学会、公益社団法人日本口腔外科学会	顎関節授動術（関節洗浄療法）
585	402204	一般社団法人日本顎関節学会、公益社団法人日本口腔外科学会	顎関節授動術 開放授動術
586	404101	日本顎顔面補綴学会	顎欠損状態を想定して、切除前に製作する顎補綴装置
587	407201	特定非営利活動法人日本顎変形症学会	上顎骨形成術「複雑な場合及び2次の再建の場合」
588	408101	公益社団法人日本矯正歯科学会	歯科矯正用アンカースクリュー
589	408202	公益社団法人日本矯正歯科学会	厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常に係る適応症の拡大
590	410102	一般社団法人日本口腔衛生学会、日本歯科医療管理学会	専門的歯肉マッサージ術
591	410103	一般社団法人日本口腔衛生学会	口臭の客観的官能検査法
592	410104	一般社団法人日本口腔衛生学会	在宅高齢患者の歯根面う蝕へのフッ化物応用処置
593	410106	一般社団法人日本口腔衛生学会	SRP処置後の露出歯根面のフッ化物パーニッシュによる修復
594	410201	一般社団法人日本口腔衛生学会	禁煙指導
595	410205	一般社団法人日本口腔衛生学会	フッ化物局所応用加算
596	413101	（公社）日本口腔外科学会、（NPO法人）日本口腔科学会	抜歯術・埋伏歯（複雑・著しく複雑なもの）
597	413104	（公社）日本口腔外科学会、日本歯科麻酔学会、日本有病者歯科医療学会、日本小児口腔外科学会、日本顎顔面インプラント学会、日本顎変形症学会	麻酔における薬剤料算定の是正
598	413107	（公社）日本口腔外科学会、日本口腔腫瘍学会、日本顎顔面インプラント学会、日本小児口腔外科学会、日本顎変形症学会、日本顎関節学会	第8部 処置に薬剤料の節を新設
599	413108	（公社）日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本歯周病学会、日本歯科保存学会、日本補綴歯科学会	唾液分泌量検査
600	413110	（公社）日本口腔外科学会、日本歯周病学会、日本有病者歯科医療学会、日本小児口腔外科学会、日本口腔腫瘍学会、日本歯科薬物療法学会	歯科における禁煙指導
601	413114	（公社）日本口腔外科学会	がま腫局所注入療法
602	413202	（公社）日本口腔外科学会、（NOP法人）日本口腔科学会	抜歯術・埋伏歯
603	413205	（公社）日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本老年歯科医学会	腐骨除去手術（深在性：顎骨におよぶもの）
604	413206	（公社）日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本老年歯科医学会	腐骨除去手術（関節頭をふくむもの）

No	整理番号	提出学会名	技術名
605	413211	(公社)日本口腔外科学会	頬、口唇、舌小帯形成術
606	413212	(公社)日本口腔外科学会、(NPO法人)日本口腔科学会	口蓋隆起形成術
607	413213	(公社)日本口腔外科学会、(NPO法人)日本口腔科学会	下顎隆起形成術
608	413216	(公社)日本口腔外科学会	顎関節授動術 開放授動術
609	416101	日本口腔リハビリテーション学会	内視鏡的咀嚼機能評価
610	419101	日本歯科医療管理学会	総合的歯科疾患継続管理料
611	419102	日本歯科医療管理学会	デンチャーマーキング
612	421201	日本歯科心身医学会、日本口腔顔面痛学会、日本口腔診断学会	歯科特定疾患療養管理料
613	423101	日本歯科東洋医学会	唾液アミラーゼモニター検査
614	425201	特定非営利活動法人日本歯科保存学会、日本接着歯学会、日本歯科審美学会	(歯冠修復) 充填
615	425202	特定非営利活動法人日本歯科保存学会	抜髄、感染根管処置、根管貼薬、根管充填、加圧加算における4根管
616	426202	一般社団法人日本歯科麻酔学会	浸潤麻酔(120点以上の処置に対する薬剤料の算定)
617	430101	特定非営利活動法人日本歯周病学会	糖尿病患者の重度歯周炎治療における局所抗菌薬の先行使用
618	430102	特定非営利活動法人日本歯周病学会	歯周組織再生誘導手術における組織再生度の規格化検査
619	430109	特定非営利活動法人日本歯周病学会	唾液中のバイオマーカー定量と細菌検出比率による歯周組織検査
620	430203	特定非営利活動法人日本歯周病学会	手術時歯根面レーザー応用加算
621	430204	特定非営利活動法人日本歯周病学会	同一手術野または同一病巣の2以上の同時手術
622	430205	特定非営利活動法人日本歯周病学会	咬合調整
623	430206	特定非営利活動法人日本歯周病学会	歯周治療用装置
624	430207	特定非営利活動法人日本歯周病学会	歯周基本治療処置(P処置)
625	430208	特定非営利活動法人日本歯周病学会	暫間固定装置修理
626	431201	日本歯内療法学会、日本歯科放射線学会	コーンビームCT(CBCT)の歯内治療への導入
627	432101	一般社団法人日本障害者歯科学会	摂食嚥下機能検査
628	432202	一般社団法人日本障害者歯科学会	機械的歯面清掃処置
629	434101	一般社団法人日本小児歯科学会	小児の口唇閉鎖力検査
630	434102	一般社団法人日本小児歯科学会	小児の口腔機能改善指導料
631	434109	一般社団法人日本小児歯科学会	クラウンループ保険装置
632	434203	一般社団法人日本小児歯科学会	乳歯列期および混合歯列期歯周病検査1
633	434204	一般社団法人日本小児歯科学会	混合歯列期歯周病検査2
634	434205	一般社団法人日本小児歯科学会	歯科診療特別対応地域支援加算
635	434206	一般社団法人日本小児歯科学会	機械的歯面清掃処置
636	434207	一般社団法人日本小児歯科学会	初期う蝕早期充填処置
637	434208	一般社団法人日本小児歯科学会	小児義歯の適用拡大
638	437101	日本補綴歯科学会、日本接着歯学会、日本歯科審美学会	グラスファイバーとコンポジットレジンによる支台築造
639	437102	日本補綴歯科学会	チタンクラスプ(鑄造鉤)
640	437103	日本補綴歯科学会	チタンバー(鑄造バー)
641	437107	日本補綴歯科学会、日本歯科審美学会	色調採得
642	437110	日本補綴歯科学会	コンビネーション鉤
643	437112	日本補綴歯科学会	義歯石灰化沈着物除去と歯科衛生士義歯管理実地指導
644	437204	日本補綴歯科学会、日本接着歯学会	築造窩洞形成・咬合採得・築造体装着
645	437205	日本補綴歯科学会、日本老年歯科学会	口腔機能のリハビリテーション用歯科補綴装置
646	437206	日本補綴歯科学会、日本歯科理工学会	有床義歯補強構造
647	437208	日本補綴歯科学会、日本歯科審美学会	小臼歯部レジン前装金属冠
648	437209	日本補綴歯科学会、日本歯科審美学会	ポステリア・テンポラリークラウン
649	437211	日本補綴歯科学会、日本歯科審美学会	歯冠修復4/5冠
650	440201	日本臨床歯周病学会	スケーリング
651	440202	日本臨床歯周病学会	SRP
652	440203	日本臨床歯周病学会	SPT
653	440204	日本臨床歯周病学会	暫間固定(エナメルボンドシステム)
654	441101	日本レーザー歯学会、日本小児歯科学会、日本歯科保存学会	光学的う蝕検出検査
655	442101	日本老年歯科医学会日本補綴歯科学会	義歯石灰化沈着物除去と歯科衛生士義歯管理実地指導
656	442102	社団法人日本老年歯科医学会	摂食嚥下障害患者の栄養食事指導
657	442103	日本老年歯科医学会顎口腔機能学会	舌圧検査
658	501201	公益社団法人日本薬学会	外来化学療法加算
659	501202	公益社団法人日本薬学会	無菌製剤処理料1
660	501203	公益社団法人日本薬学会	PET検査における薬剤師の評価
661	501204	公益社団法人日本薬学会	特定薬剤副作用評価加算(薬剤師の評価)
662	501205	公益社団法人日本薬学会	調剤料(注射剤調剤)
663	501206	公益社団法人日本薬学会	調剤料(麻薬、向精神薬、覚せい剤原料又は毒薬加算の増点)
664	501207	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料(外来患者に対する薬学的管理の評価)
665	501208	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料(注射剤調剤)
666	501209	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料(算定要件の緩和)
667	501210	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料(院内製剤加算の増点)

No	整理番号	提出学会名	技術名
668	501211	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料（一回量包装調剤加算）
669	501212	公益社団法人日本薬学会	調剤技術基本料（乳幼児加算）
670	501213	公益社団法人日本薬学会	無菌製剤処理料2（対象患者の拡大）
671	601101	一般社団法人日本がん看護学会	外来経口がん薬物療法指導管理料
672	601102	一般社団法人日本がん看護学会	がん患者腫瘍自壊創指導管理料
673	601103	日本がん看護学会	外来がん難治性疼痛指導管理料
674	601201	一般社団法人日本がん看護学会	がん患者カウンセリング料
675	602101	日本看護技術学会	背面開放座位療法
676	603101	日本緩和医療学会	リンパ浮腫に対する複合的理学療法
677	604201	日本救急看護学会	院内トリアージ実施料
678	605101	日本クリティカルケア看護学会	周術期看護外来（手術前医学管理料加算）
679	606101	日本手術看護学会	手術を受ける患者に行う術前管理指導
680	607101	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	尿失禁に対する骨盤底筋訓練指導
681	607102	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	在宅排尿指導管理料
682	607104	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	経ストーマ洗腸指導管理料
683	607201	日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	ストーマ処置料
684	608201	日本精神保健看護学会	認知療法・認知行動療法
685	609101	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	下部尿路症状の排尿指導料
686	609201	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	在宅自己導尿指導管理料／ディスプレイ加算
687	610101	日本糖尿病教育・看護学会	糖尿病合併症ハイリスク初診指導料
688	610201	日本糖尿病教育・看護学会	糖尿病合併症管理料
689	611101	日本老年看護学会	COPD在宅酸素療法患者へのテレナーシング（遠隔看護）技術
690	701101	日本不整脈学会	植込型除細動デバイス指導管理料
691	701201	日本不整脈学会	遠隔モニタリングによる植え込み型医療器具の指導管理料
692	701202	日本不整脈学会	両心室ペースメーカー移植術施設認定基準
693	701203	日本不整脈学会	経皮的カテーテル心筋焼灼術（その他のもの）
694	701204	日本不整脈学会	ペースメーカー電池交換術
695	701205	日本不整脈学会	埋込み型除細動器移植術
696	701206	日本不整脈学会	埋込み型除細動器交換術
697	701207	日本不整脈学会	両室ペースメーカー植え込み術
698	701208	日本不整脈学会	両心室ペースメーカー交換術
699	701209	日本不整脈学会	植込み型除細動器移植術及び両心室ペースメーカー植込み術のための小児施設基準の見直し
700	703101	日本放射線腫瘍学会	放射線治療におけるチーム加算
701	703102	日本放射線腫瘍学会	画像誘導密封小線源治療（IGBT）
702	703103	日本放射線腫瘍学会（共同提案：日本小児血液・がん学会）	陽子線治療
703	703104	日本放射線腫瘍学会	重粒子（炭素イオン）線治療
704	703105	日本放射線腫瘍学会	乳房温存手術後における加速乳房部分照射術
705	703201	日本放射線腫瘍学会	体外照射（高エネルギー放射線治療）
706	703202	日本放射線腫瘍学会	外来放射線照射診療料（専門看護師・認定看護師配置の場合の加算）
707	703203	日本放射線腫瘍学会	体外照射（固定具加算）
708	703204	日本放射線腫瘍学会	術中照射療法
709	703205	日本放射線腫瘍学会（共同提案：日本呼吸器内視鏡学会）	気管支内視鏡的放射線治療用マーカー留置術
710	703207	日本放射線腫瘍学会	体外照射（コバルト60遠隔大量照射）
711	703208	日本放射線腫瘍学会	密封小線源治療（旧型コバルト腔内照射）
712	704101	日本未熟児新生児学会（共同提案：日本周産期・新生児医学会）	新生児搬送料
713	704201	日本未熟児新生児学会（共同提案：日本周産期・新生児医学会）	新生児特定集中治療室管理料2
714	704202	日本未熟児新生児学会（共同提案：日本周産期・新生児医学会）	ベイリー発達検査を発達及び知能検査項目に追加
715	704203	日本未熟児新生児学会（共同提案：日本周産期・新生児医学会）	新生児仮死蘇生術 仮死第2度のもの
716	704204	日本未熟児新生児学会（共同提案：日本周産期・新生児医学会）	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの
717	705101	日本脈管学会（共同提案：日本血管外科学会、日本リンパ学会、日本静脈学会）	リンパ浮腫に対する複合的理学療法
718	706101	日本輸血・細胞治療学会	不規則抗体同定検査
719	706102	日本輸血・細胞治療学会	輸血管理料（K920-2）：輸血業務IT化加算
720	706201	日本輸血・細胞治療学会	血漿成分製剤加算：アルブミン製剤へ適応拡大
721	708101	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本運動器科学会、日本温泉気候物理医学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション医学会、日本心臓リハビリテーション学会、日本整形外科科学会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会、日本臨床整形外科科学会、日本高次脳機能障害学会）	リハビリテーション処方（指示）料

No	整理番号	提出学会名	技術名
722	708102	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本神経学会、日本神経治療学会、日本整形外科学会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会）	ボツリヌス毒素製剤投与前後のリハビリテーション料
723	708103	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本整形外科学会）	義肢・装具処方、仮合せ、適合判断料
724	708104	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本温泉気候物理医学会、日本整形外科学会、日本神経学会、日本神経治療学会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会）	身体障害者日常生活指導料
725	708201	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本運動器科学会、日本温泉気候物理医学会、日本高次脳機能障害学会、日本整形外科学会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会、日本臨床整形外科学会）	神経学的検査
726	708202	日本リハビリテーション医学会（共同提案：日本温泉気候物理医学会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会）	がん患者リハビリテーション
727	710201	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 その他のもの
728	710202	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	細菌培養同定検査（口腔・気道又は呼吸器からの検体）
729	710203	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	細菌培養同定検査（消化管からの検体）
730	710204	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	細菌培養同定検査（血液および穿刺液）
731	710205	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	細菌培養同定検査（泌尿器又は生殖器からの検体）
732	710206	日本臨床検査医学会（共同提案：日本臨床微生物学会）	細菌培養同定検査（その他の部位からの検体）
733	710207	日本臨床検査医学会	抗酸菌分離培養（液体培地法）
734	710208	日本臨床検査医学会	抗酸菌分離培養（それ以外のもの）
735	710209	日本臨床検査医学会	抗酸菌薬剤感受性検査（培地数に関係なく）
736	710210	日本臨床検査医学会	抗酸菌核酸同定
737	710211	日本臨床検査医学会	結核菌群核酸検出
738	710212	日本臨床検査医学会	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー（MAC）核酸検出
739	710213	日本臨床検査医学会	造血器腫瘍細胞抗原検査
740	710214	日本臨床検査医学会	スパイログラフィー等検査（肺気量分画測定）
741	710215	日本臨床検査医学会	フローボリュームカーブ
742	710216	日本臨床検査医学会	機能的残気量測定
743	710217	日本臨床検査医学会	肺拡散能力検査
744	710218	日本臨床検査医学会	生化学的検査（I）における初診時加算
745	710219	日本臨床検査医学会	検体検査管理加算分類の見直し
746	710220	日本臨床検査医学会	外来診療料包括規定項目の見直し
747	710221	日本臨床検査医学会	尿中特殊物質定性定量検査 注の見直し
748	710222	日本臨床検査医学会	アポリポ蛋白
749	710223	日本臨床検査医学会	慢性維持透析患者外来医学管理料の包括算定対象の見直し
750	710224	日本臨床検査医学会	アルブミン定量（尿）
751	710225	日本臨床検査医学会	不飽和鉄結合能（UIBC）、総鉄結合能（TIBC）
752	710226	日本臨床検査医学会	溶連菌エステラーゼ抗体（ASE）
753	710227	日本臨床検査医学会	クレアチニン
754	710228	日本臨床検査医学会	リウマトイド因子（RF）半定量
755	710229	日本臨床検査医学会	カタラーゼ
756	710230	日本臨床検査医学会	シスチンアミノペプチダーゼ（CAP）
757	710231	日本臨床検査医学会	遊離脂肪酸（NEFA）
758	710232	日本臨床検査医学会	LEテスト定性
759	710233	日本臨床検査医学会	エステル型コレステロール
760	710234	日本臨床検査医学会	前立腺酸ホスファターゼ
761	710235	日本臨床検査医学会	肺サーファクタント蛋白A（SSP-A）（羊水）
762	711201	日本臨床検査専門医会（共同提案：日本臨床検査医学会、日本循環器学会、日本動脈硬化学会、日本皮膚科学会、日本血栓止血学会）	皮膚組織灌流圧測定
763	711202	日本臨床検査専門医会	血液採取
764	711203	日本臨床検査専門医会	蛋白分画（血液化学検査）の増点および包括規定の見直し
765	711204	日本臨床検査専門医会	血清・血漿シスタチンC測定
766	711205	日本臨床検査専門医会	終夜睡眠ポリグラフィ
767	711206	日本臨床検査専門医会	悪性腫瘍遺伝子検査
768	711207	日本臨床検査専門医会	血液細胞核酸増幅同定検査
769	711208	日本臨床検査専門医会	Major BCR-ABL1mRNA核酸増幅検査
770	711209	日本臨床検査専門医会	UDPグルクロン酸転移酵素遺伝子多型
771	711210	日本臨床検査専門医会	サイトケラチン（CK）19mRNA

No	整理番号	提出学会名	技術名
772	711211	日本臨床検査専門医会	WT1mRNA核酸増幅検査
773	712101	公益社団法人日本臨床細胞学会（提案学会：日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会）	婦人科細胞診スクリーニングにおける自動化加算
774	712201	公益社団法人日本臨床細胞学会（共同提案：日本病理学会、日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会）	液状化検体細胞診（Liquid Based Cytology = LBC）
775	712202	日本臨床細胞学会（共同提案：日本病理学会、日本産科婦人科学会、日本婦人科腫瘍学会）	細胞診断料
776	713101	日本臨床神経生理学学会（共同提案：日本神経学会、日本臨床検査医学会、日本リハビリテーション医学会）	事象関連電位
777	713102	日本臨床神経生理学学会	眼電図、ビデオ式アイトラッキングシステムによる眼球運動計測
778	713201	日本臨床神経生理学学会（共同提案：日本神経学会、日本臨床検査医学会、日本リハビリテーション医学会）	筋電図検査 1 筋電図（1肢につき（針電極にあつては1筋につき））
779	713202	日本臨床神経生理学学会（共同提案：日本神経学会）	脳波検査判断料
780	713203	日本臨床神経生理学学会（共同提案：日本神経学会、日本臨床検査医学会、日本リハビリテーション医学会）	筋電図検査 2. 誘発筋電図（神経伝導速度測定を含む。）
781	713204	日本臨床神経生理学学会（共同提案：日本神経学会、日本リハビリテーション医学会）	平衡機能検査
782	714101	日本臨床腫瘍学会	職場産業医への診療情報提供料の新設
783	714102	日本臨床腫瘍学会	FDG-PET/CTによるがん骨転移の治療効果判定
784	714201	日本臨床腫瘍学会	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
785	714202	日本臨床腫瘍学会	がん患者カウンセリング料
786	714203	日本臨床腫瘍学会	外来緩和ケア管理料
787	714204	日本臨床腫瘍学会	緩和ケア診療加算
788	714205	日本臨床腫瘍学会	入院基本料等加算がん診療連携拠点病院加算の外来診療（初診）への拡大
789	715201	日本臨床整形外科学会	骨粗鬆症の骨代謝マーカー測定要件の見直し
790	717201	日本臨床内科医会	往診料（機能評価）
791	717202	日本臨床内科医会	往診料（看護師帯同）
792	717203	日本臨床内科医会	在宅患者訪問診療料（在宅療養支援診療所）
793	717204	日本臨床内科医会	在宅患者訪問診療料（病態変化への対応）
794	717205	日本臨床内科医会	在宅時医学総合管理料
795	718201	日本臨床微生物学会	細菌培養同定検査（血液2セット）
796	718202	日本臨床微生物学会	細菌薬剤感受性検査：1菌種
797	718203	日本臨床微生物学会	細菌薬剤感受性検査：2菌種
798	718204	日本臨床微生物学会	細菌薬剤感受性検査：3菌種
799	718205	日本臨床微生物学会	大腸菌ペロトキシン定性
800	721101	日本不安障害学会（共同提案：日本総合病院精神医学会）	認知療法・認知行動療法
801	722101	日本移植学会	ABO血液型抗体価測定
802	722201	日本移植学会	既存抗体検査
803	723101	一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会	微生物核酸同定・定量検査5HPV核酸検出の頭頸部がんへの適応拡大
804	724101	一般社団法人日本脳神経外科学会	三叉神経痛に対するガンマナイフ（LGK）による定位放射線治療
805	725101	日本腹部救急医学会（共同提案：日本救急医学会）	インターロイキン-6（IL-6）血中濃度迅速測定

医療技術評価・再評価提案書に基づく 平成23年度医療技術の評価について(概要)

中医協 総-4 (参考)	中医協 総-1-2
25.11.6	24.1.27

平成23年度第二回
医療技術評価分科会に
おける評価

医療技術評価分科会における評価
のとりまとめ

